

オルガノ株式会社  
2018年3月期上期決算説明会資料

---

2017年11月8日

# 目次

I 会社概要

II 2018年3月期上期実績

III 2018年3月期通期業績予想

IV 中期経営計画の取組み

## 会社概要

社名	オルガノ株式会社（英名：Organo Corporation）		
本社所在地	〒136-8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号		
設立	1946年5月1日		
代表者	代表取締役社長 鯉江 泰行		
資本金	82億2,549万9,312円		
従業員数	2,172名（連結） ※2017年9月30日時点		
主な事業内容	水処理エンジニアリング事業	プラント事業	大型水処理設備の製造販売
		ソリューション事業	設備のメンテナンス・運転管理・改造工事等
	機能商品事業		標準型水処理機器、水処理薬品、食品添加剤の製造販売
主な事業所	本社（東京都江東区）、開発センター（相模原市）、 つくば工場（つくば市）、いわき工場（いわき市）、 北海道支店（札幌市）、東北支店（仙台市）、 関東支店（東京都江東区）、中部支店（名古屋市）、 関西支店（吹田市）、中国支店（広島市）、九州支店（福岡市）		

## 連結の範囲

### 【国内・海外連結子会社】

エリア		連結子会社名	主な事業内容	
国内		オルガノプラントサービス	水処理プラントの施工・メンテナンス	
		オルガノフードテック	食品添加剤製造・販売	
		オルガノエコテクノ	排水処理プラント設計・施工	
		オルガノアクティ	印刷、保険代理、管理業務受託	
海外	中国	Organo (Suzhou) Water Treatment	水処理エンジニアリング事業	
	台湾	Organo Technology	水処理エンジニアリング事業	
	東南アジア		Organo (Asia) <マレーシア>	水処理エンジニアリング事業
			Organo (Thailand) <タイ>	水処理エンジニアリング事業
			Lautan Organo Water <インドネシア>	水処理エンジニアリング事業

### 【参考：国内・海外非連結関連会社】

エリア		非連結関連会社名	主な事業内容
国内		ホステック	標準型水処理機器製造
		東北電機鉄工	各種プラント設計・施工
海外	東南アジア	Organo (Singapore) <シンガポール>	水処理エンジニアリング事業
		Organo (Vietnam) <ベトナム>	水処理エンジニアリング事業
	南アジア	Murugappa Organo Water Solutions <インド>	水処理エンジニアリング事業

## 【水処理エンジニアリング事業】 各部門の事業概要

### プラント事業

最先端の高度な技術を組み合わせた  
さまざまな用途に適する  
水処理関連設備



- ◆ 用水製造設備（純水、超純水等）
- ◆ 排水処理・排水回収設備
- ◆ 有価物回収設備
- ◆ プロセス関連設備（糖類精製等）

### 主な対象分野

#### 電子産業分野

半導体／液晶／各種電子部品等

#### 電力分野

火力発電所／原子力発電所等

#### 上下水道分野

上水道／下水道

#### 一般産業分野

食品／飲料／医薬／化学／機械等

### ソリューション事業

水処理設備の最適な運用を実現するソリューションを提供

- ◆ 消耗品交換・メンテナンス
- ◆ 運転管理
- ◆ 改造工事
- ◆ 水処理加工受託



## 【機能商品事業】 各部門の事業概要

### 標準型機器・フィルター

標準型機器

研究機関・病院等での実験・分析・検査などに用いられる高純度の水を提供



- ◆超純水製造装置
- ◆純水製造装置

超純水装置  
ピュアリックω

フィルター

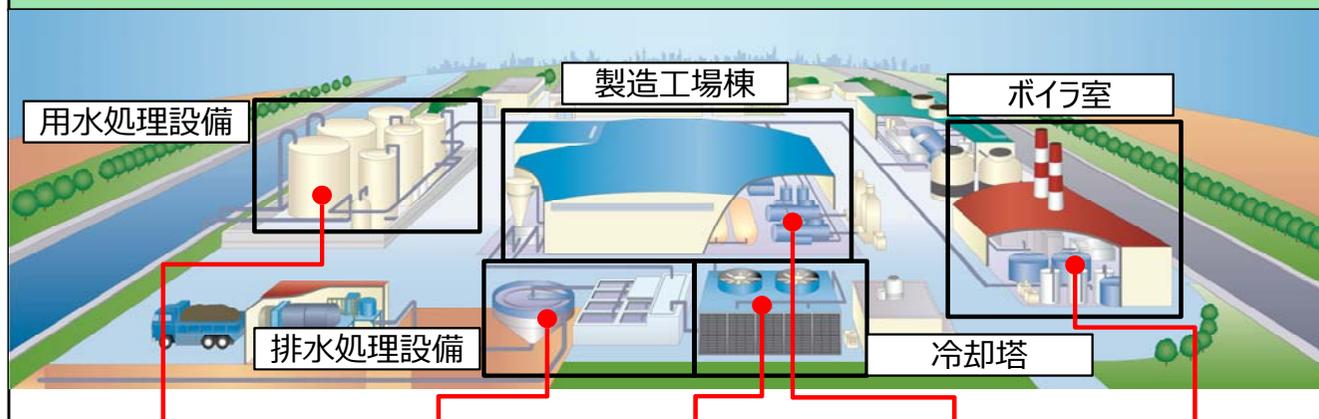
飲料水やコーヒーなどに適した美味しく安全な水



- ◆コンビニエンスストア・厨房・カップ式自動販売機等向け浄水フィルター

オルガノフィルター  
D-4D

### 水処理薬品



- |   |                                   |                                       |                                   |                                      |
|---|-----------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| <b>RO水処理薬品</b><br>スライムコントロール剤<br>スケール防止剤等 | <b>排水処理薬品</b><br>凝集剤・栄養剤・<br>消泡剤等 | <b>冷却水処理薬品</b><br>スライムコントロール剤<br>分散剤等 | <b>洗浄薬品</b><br>化学洗浄剤・<br>スライム剥離剤等 | <b>ボイラ水処理薬品</b><br>脱酸素剤・分散剤・<br>清缶剤等 |
|---|-----------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|

工場やビルでさまざまな用途に  
最適な水質管理を実現できる薬品

### 食品加工材

高齢者食、介護食市場や弁当・惣菜などの中食市場、機能性食品・栄養補助食品などに向けた食品素材・食品添加剤など時代の要請に応える食品加工材

- ◆ゼリー、たれ等向けのゲル化剤、増粘剤
- ◆たん白、食物繊維等の食品素材 等

## Ⅱ 2018年3月期上期実績

- 実績
- 決算サマリー
- 売上・営業利益推移
- セグメント別実績（受注・売上・営業利益）
- 地域別売上高
- 水処理エンジニアリング事業 部門・顧客別売上高
- 機能商品事業 部門別売上高
- 貸借対照表

## 2018年3月期 上期実績

	2016/09 実績	2017/09 計画	2017/09 実績	前年同期差	計画差
受注高	38,332	36,500	39,588	+ 1,256	+ 3,088
売上高	34,364	33,500	32,003	△ 2,361	△ 1,497
売上総利益 (%)	7,744 (22.5%)	7,400 (22.1%)	7,212 (22.5%)	△ 532 (± 0.0pt)	△ 188 (+ 0.4pt)
販管費	7,057	7,100	7,448	+ 391	+ 348
営業利益 (%)	687 (2.0%)	300 (0.9%)	△235 (△0.7%)	△ 922 (△ 2.7pt)	△ 535 (△ 1.6pt)
経常利益	533	250	△182	△ 715	△ 432
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	89	55	△253	△ 342	△ 308

## 決算 サマリー

### 【水処理エンジニア事業】

受注高は台湾では減少も、中国・日本での電子産業向け受注が好調に推移  
売上高は中国の売上高が大幅増加したが、台湾・国内一般産業分野で減少

### 【機能商品事業】

標準型機器・フィルター、水処理薬品、食品の全分野で受注・売上が好調に推移

### 【全 般】

売上総利益率は前期並も売上の減少・体制強化・研究開発費増が影響



受注高

前期比・計画比 増

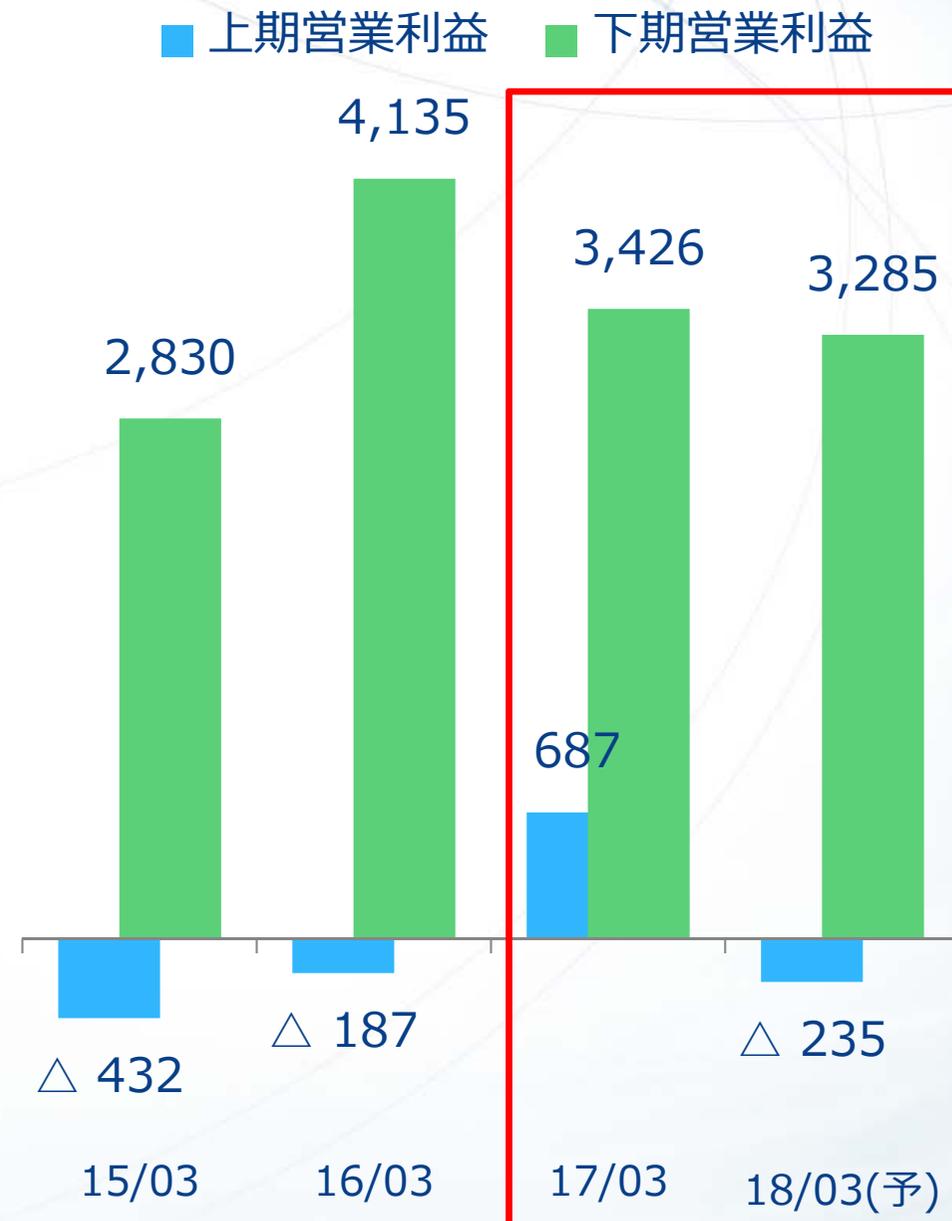
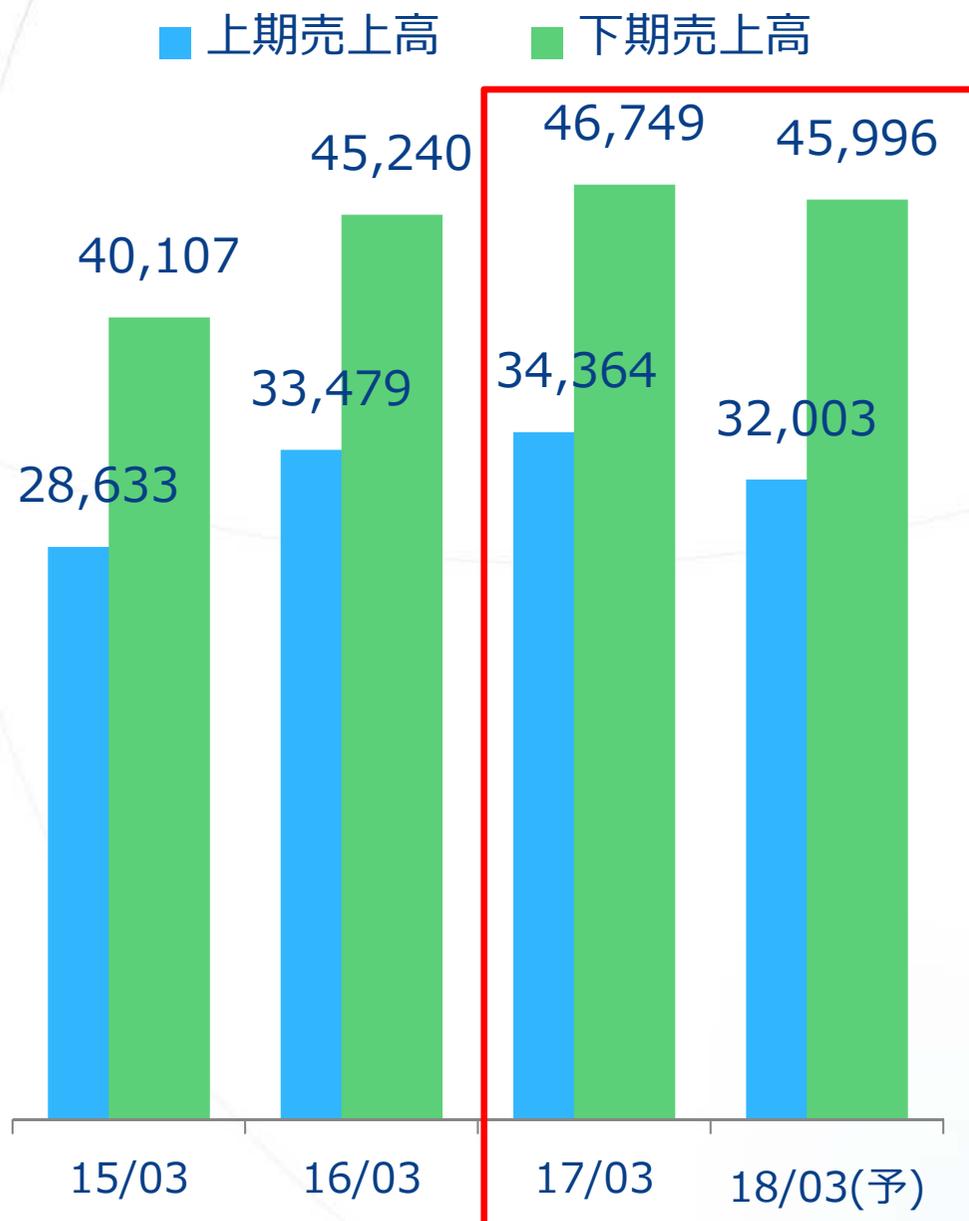
売上高

前期比・計画比 減

営業利益

前期比・計画比 減

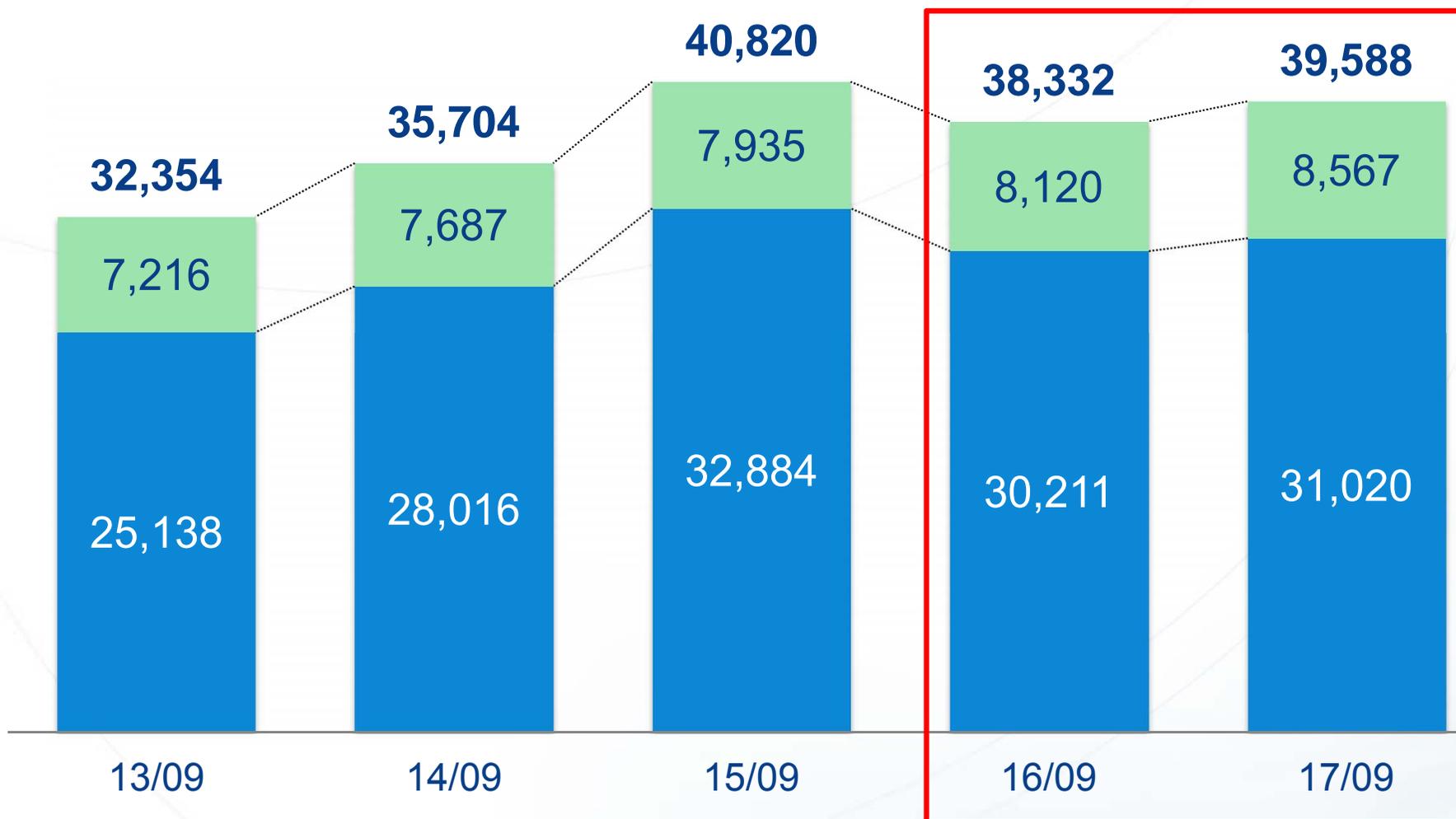
## 売上・営業利益は下期に偏重



水処理エンジニアリング：中国・国内での電子産業分野の受注が好調  
 機能商品：薬品・機器・食品とも受注堅調

## 上期受注高推移

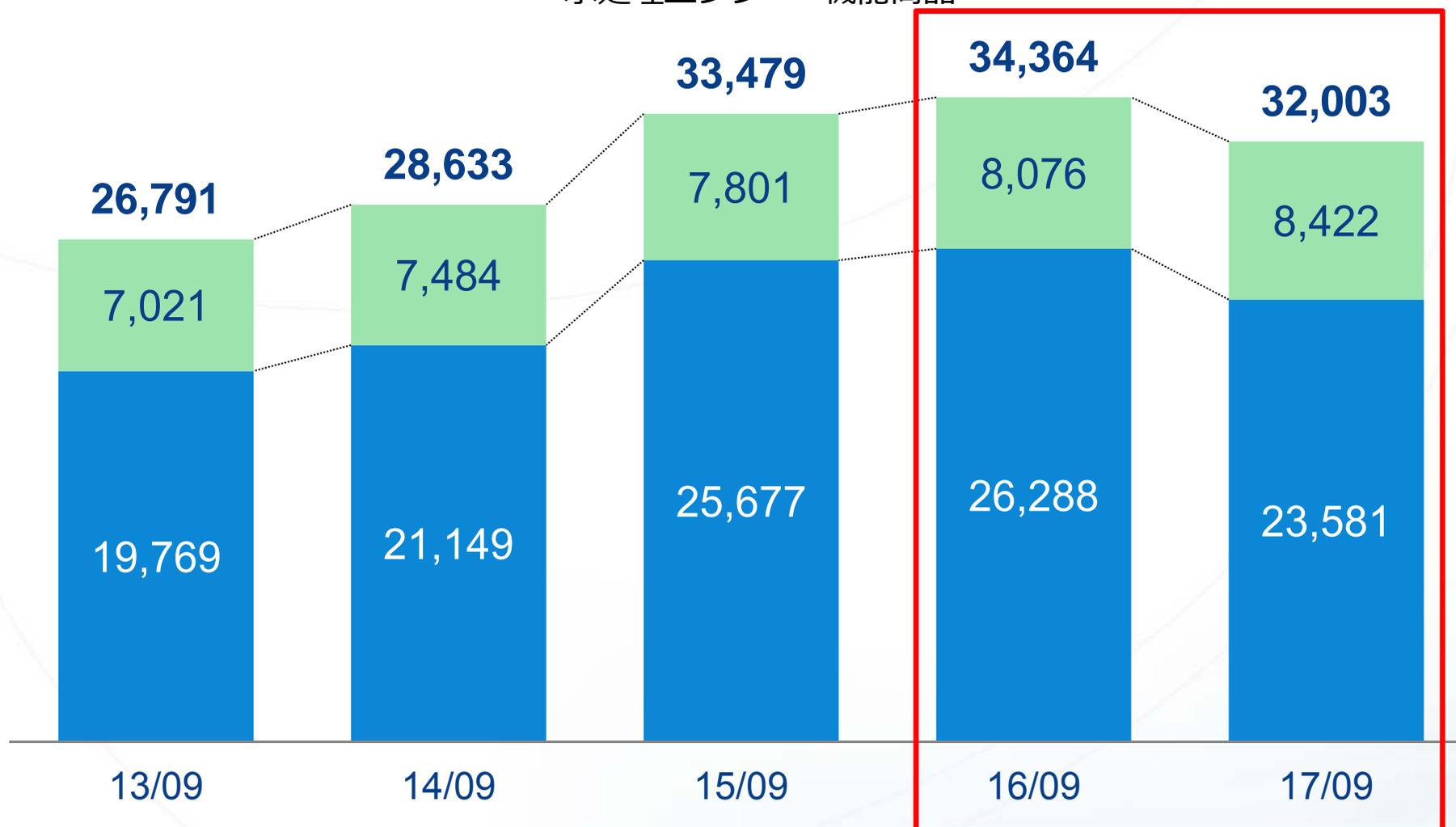
■ 水処理エンジニアリング ■ 機能商品



水処理エンジ：台湾・国内一般産業分野で売上減少  
 機能商品：薬品・機器・食品とも堅調に売上増

## 上期売上高推移

■ 水処理エンジ ■ 機能商品



売上総利益率は前期並、売上減少による減益・  
 研究開発投資などの販管費増により営業利益減少

## 上期営業利益推移

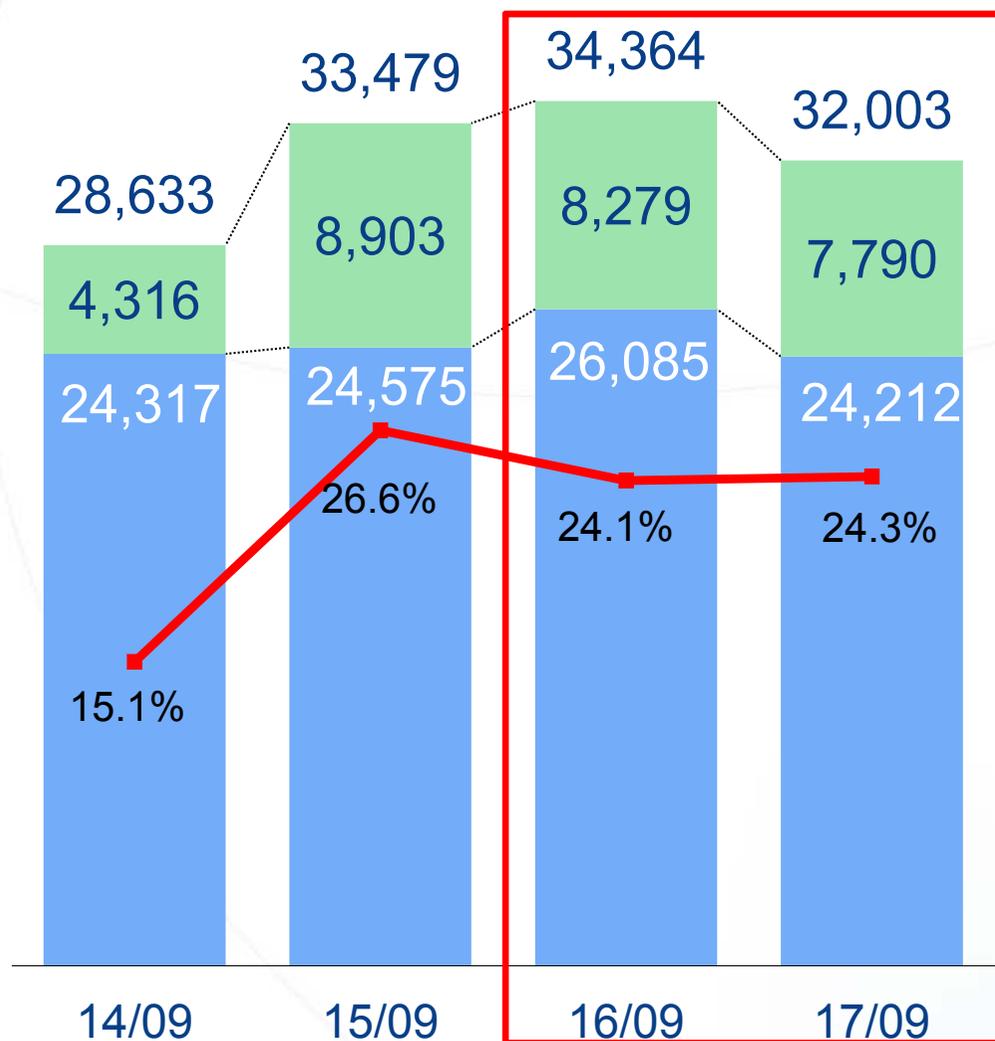
■ 水処理エンジ ■ 機能商品 ■ 全社計



台湾では減少となったが、中国の売上高は大きく伸張

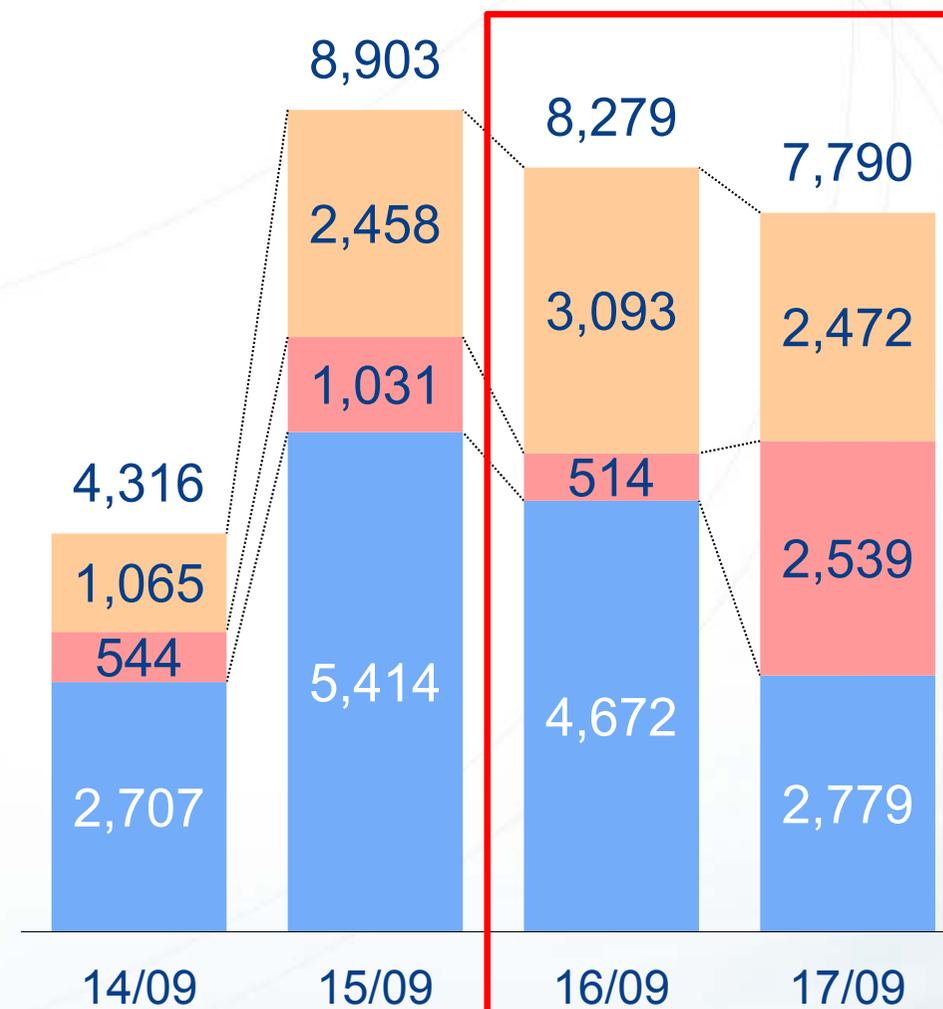
国内・海外別上期売上高

■ 国内 ■ 海外 ■ 海外比率



海外 地域別売上高

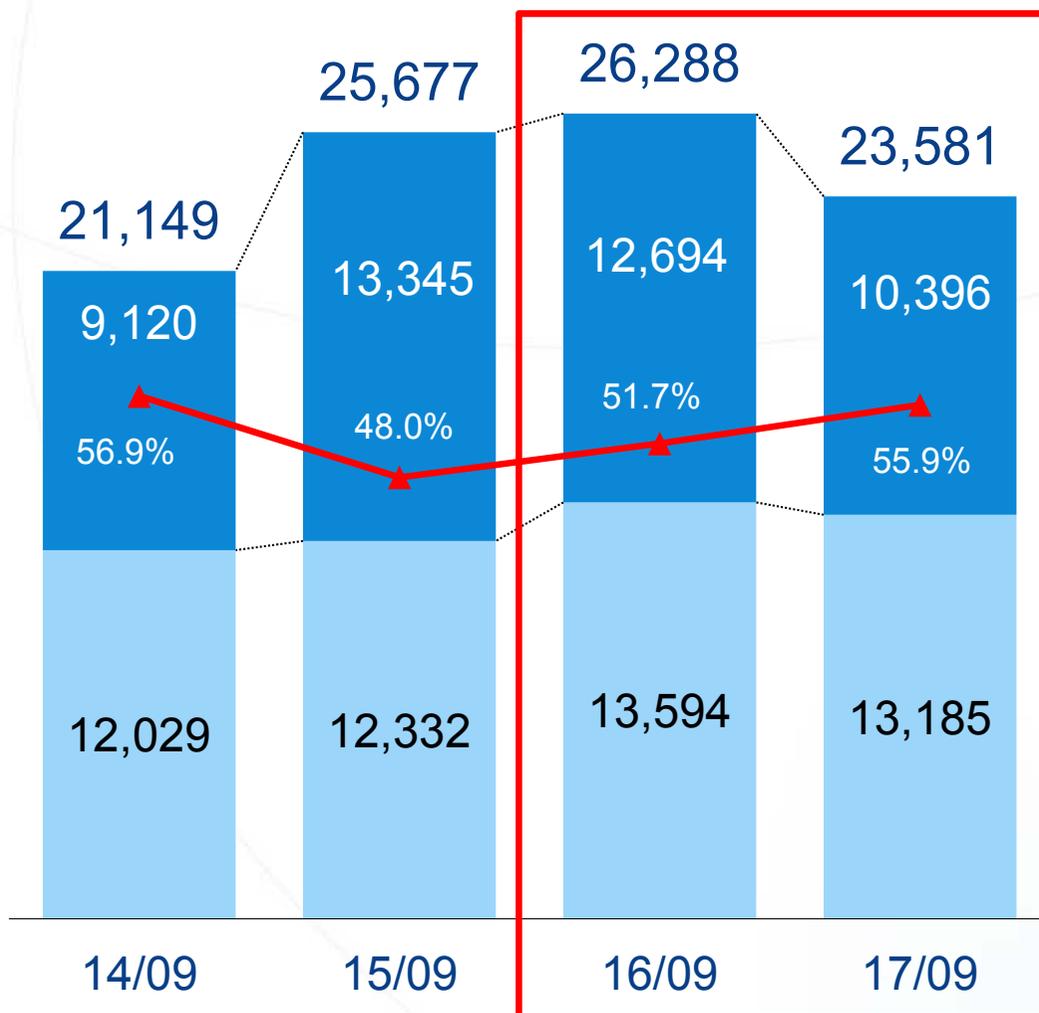
■ 台湾 ■ 中国 ■ 東南アジア他



売上減の主要因はプラント部門の減少による  
顧客別では電子産業でほぼ横ばいも一般産業の減少響く

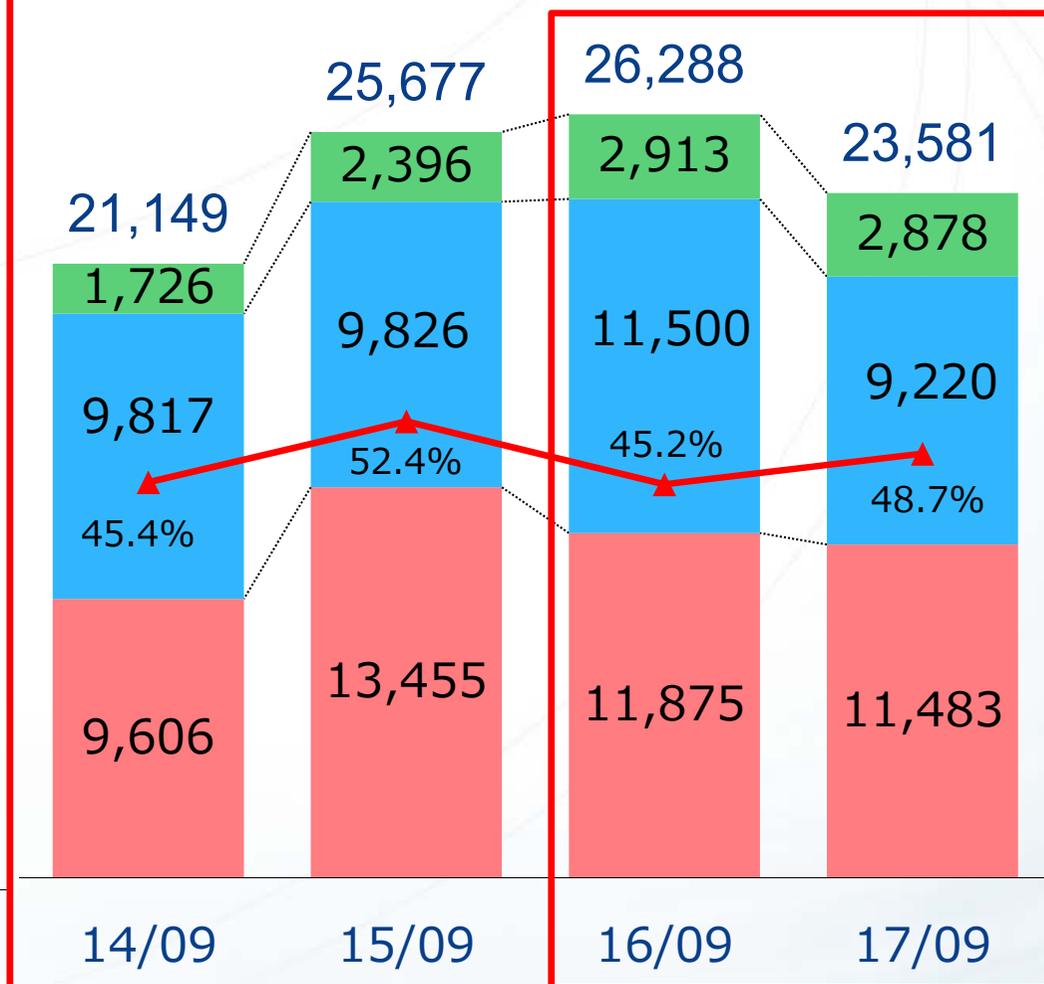
水処理エンジニアリング事業：部門別上期売上高

■ ソリューション ■ プラント ▲ ソリューション比率



水処理エンジニアリング事業：顧客別上期売上高

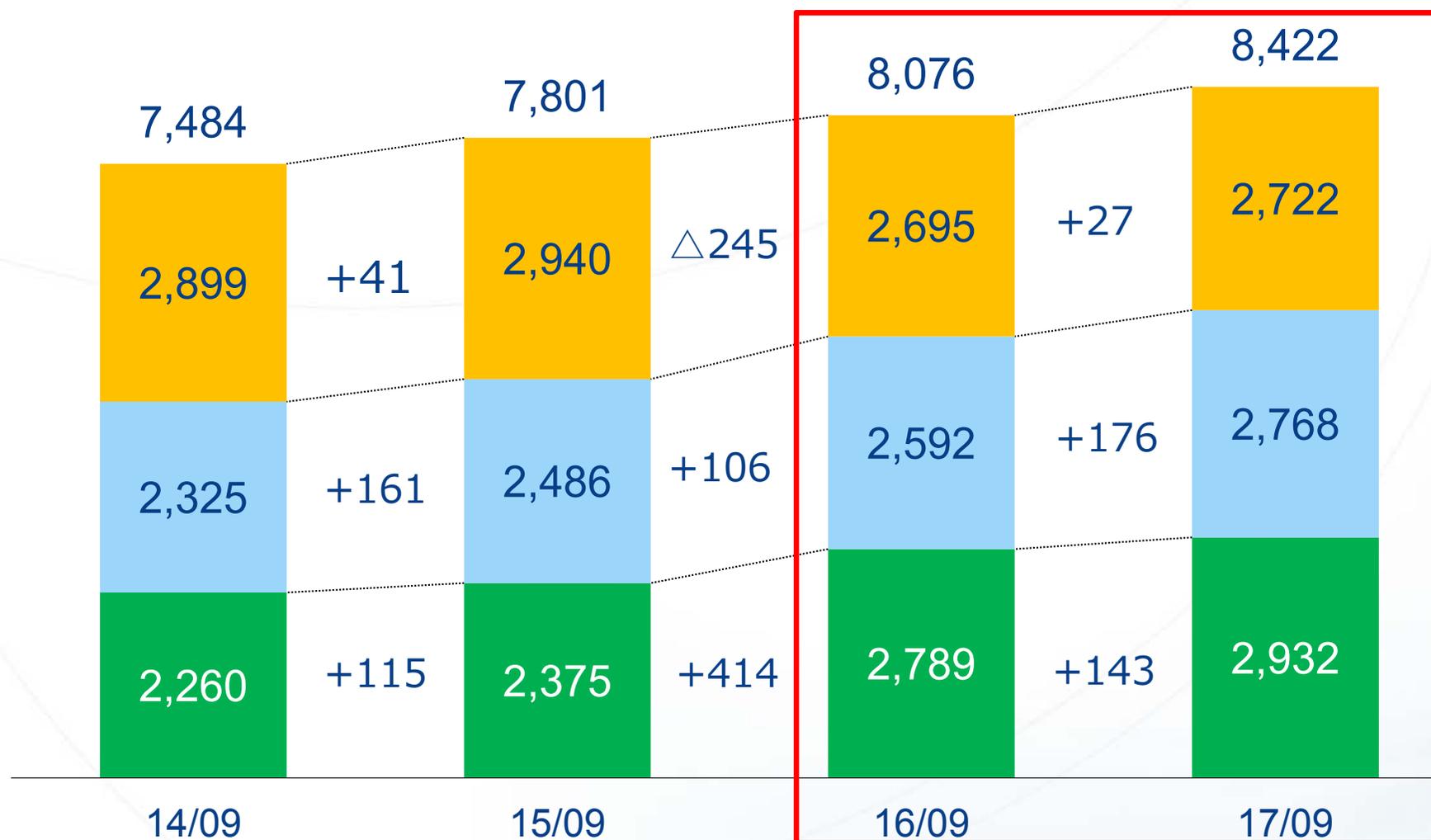
■ 電子産業 ■ 一般産業 ▲ 電子産業比率  
■ 電力・上下水道



薬品・機器・食品の全部門で売上拡大  
特に薬品・機器部門の伸びが大きく貢献

機能商品事業：部門別上期売上高

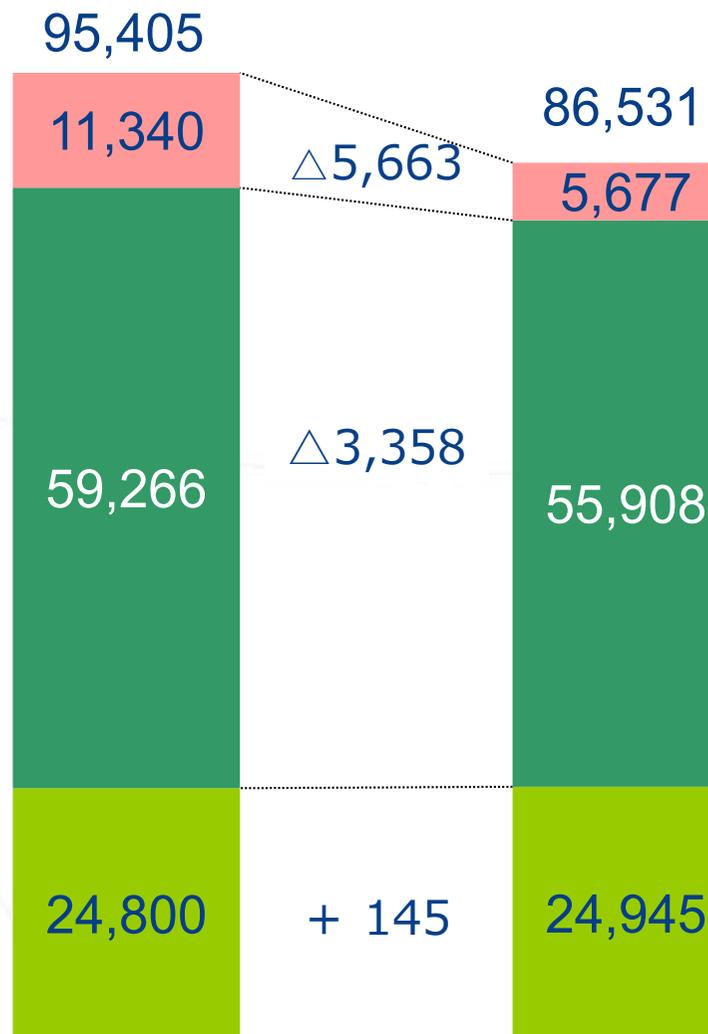
■ 水処理薬品      ■ 標準型機器・フィルター      ■ 食品



## 貸借対照表

### 資産の部

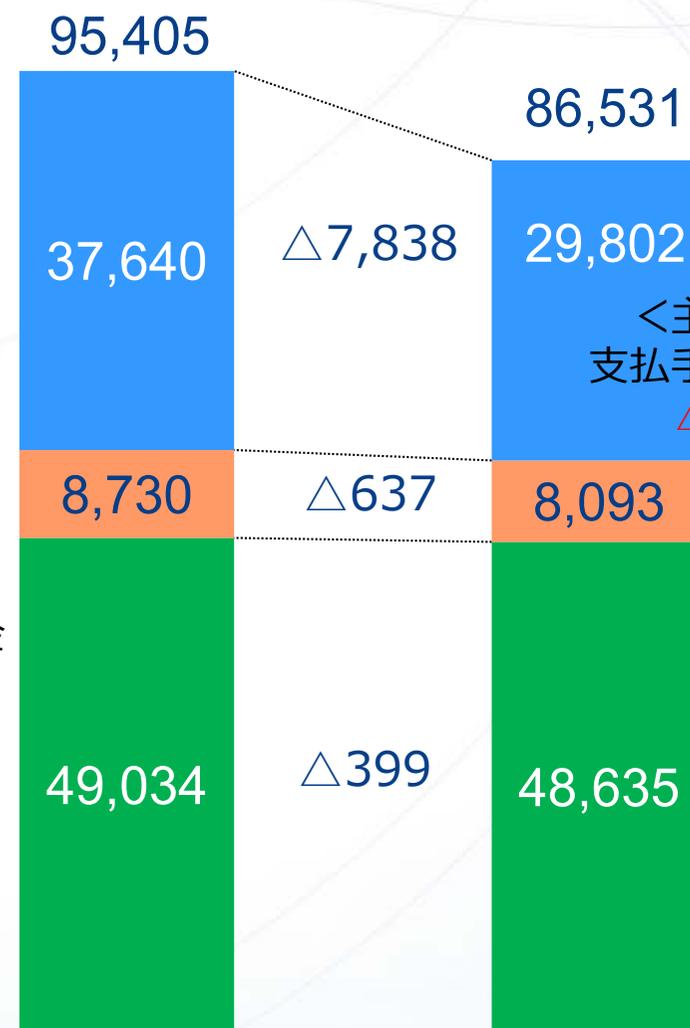
■ 固定資産 ■ 流動資産(現預金除く) ■ 現預金



<主な増減>  
 受取手形・売掛金  
 △6,211

### 負債・純資産の部

■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債



<主な増減>  
 支払手形・買掛金  
 △4,539

17/03

17/09

17/03

17/09

### Ⅲ 2018年3月期通期予想

- 通期決算予想
- 通期予想概況
- セグメント別実績（受注・売上・営業利益）
- 地域別受注高
- 地域別売上高
- 水処理エンジニアリング事業 部門・顧客別売上高
- 水処理エンジニアリング事業 電子産業分野売上高
- 機能商品事業 部門別売上高
- 主な指標

## 2018年3月期 通期決算予想

(単位：百万円)

	2017/03 実績	2018/03 計画	2018/03 予想	前期差	計画差
受注高	74,041	78,500	83,500	+ 9,459	+ 5,000
売上高	81,114	81,000	78,000	Δ 3,114	Δ 3,000
売上総利益 (%)	18,644 (23.0)	17,650 (21.8)	17,850 (22.9)	Δ 794 (Δ 0.1pt)	+ 200 (+ 1.1pt)
販管費	14,529	14,600	14,800	+ 271	+ 200
営業利益 (%)	4,114 (5.1)	3,050 (3.8)	3,050 (3.9)	Δ 1,064 (Δ 1.2pt)	-
経常利益	4,162	2,950	2,950	Δ 1,212	-
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,731	2,000	2,000	Δ 731	-

## 通期予想概況

### 【水処理エンジニアリング事業】

受注高は活発な国内・中国での電子産業投資での受注増を見込む

売上高は受注好調な中国で大幅増、日本・台湾での減少が響く

### 【機能商品事業】

標準型機器・フィルター、水処理薬品、食品の全分野で受注・売上が好調に推移

### 【全 般】

販管費は体制強化・研究開発投資拡大により増



受注高

前期比・計画比 増

売上高

前期比・計画比 減

営業利益

前期比減・計画据置

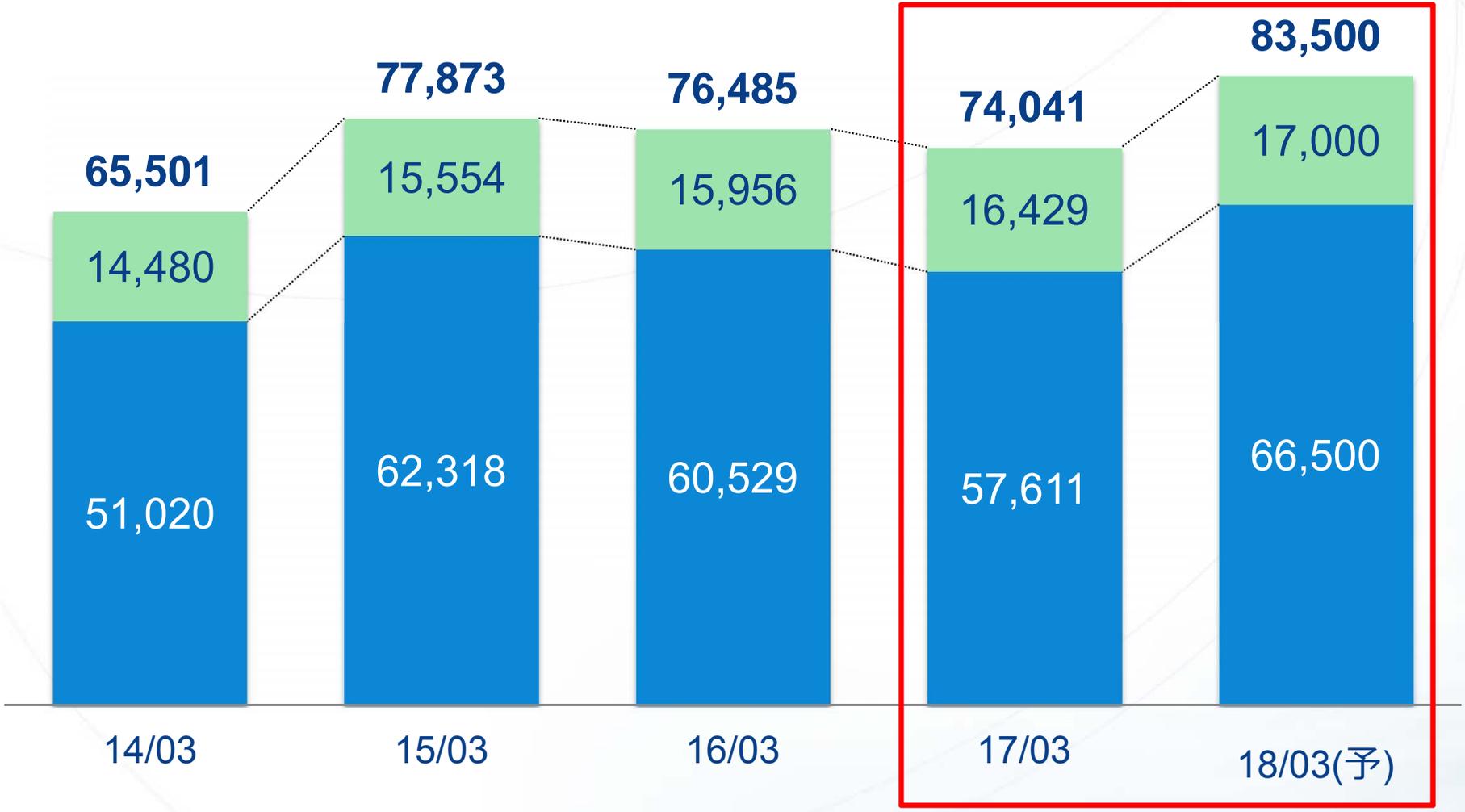


(単位：百万円)

水処理エンジ : 中国・国内の電子産業分野で受注拡大見込む  
機能商品 : 薬品・機器・食品とも堅調な推移見込む

通期受注高推移

■ 水処理エンジ ■ 機能商品



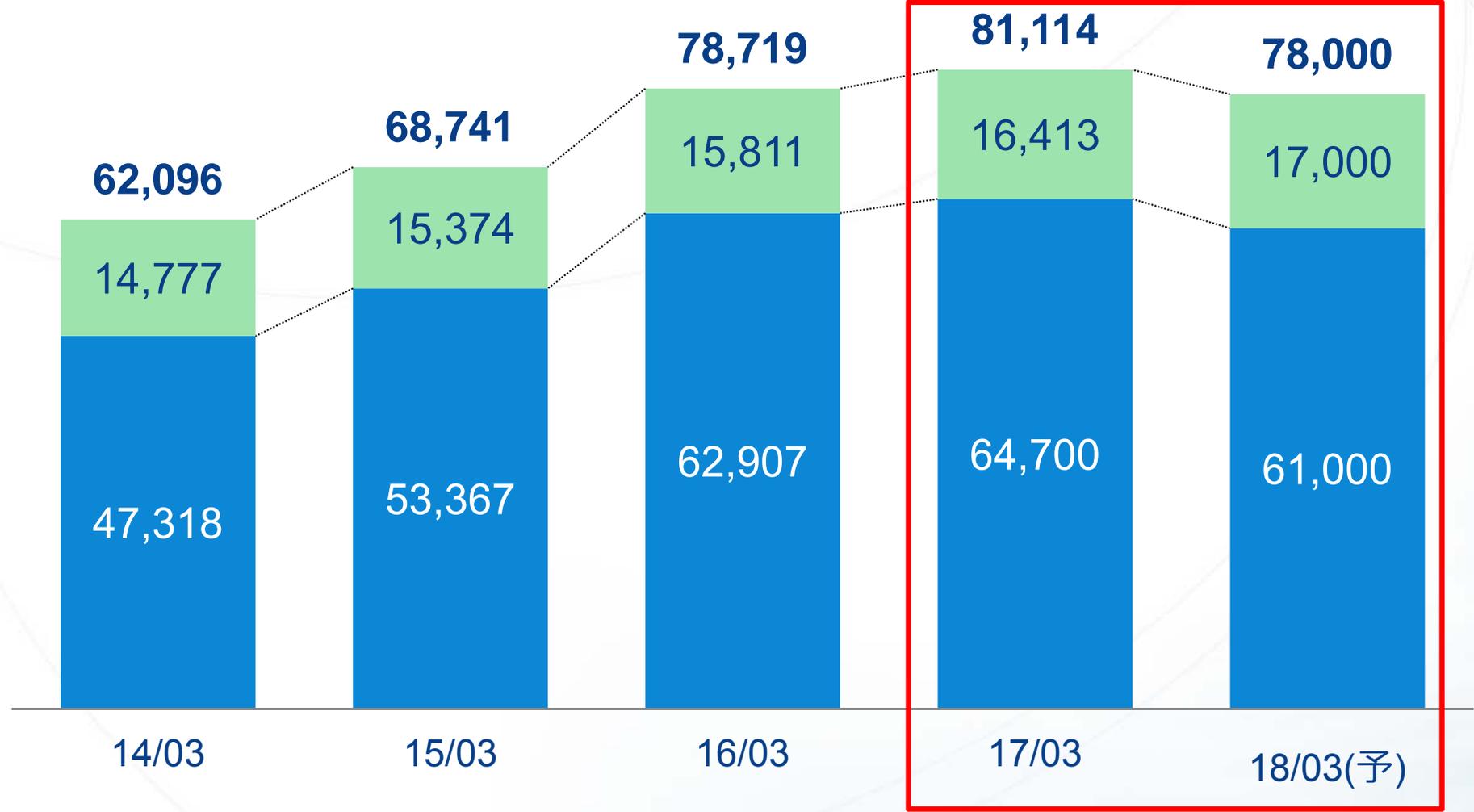


(単位：百万円)

水処理エンジ：台湾・国内一般産業での売上減少見込む  
機能商品：薬品・機器・食品とも堅調な推移見込む

通期売上高推移

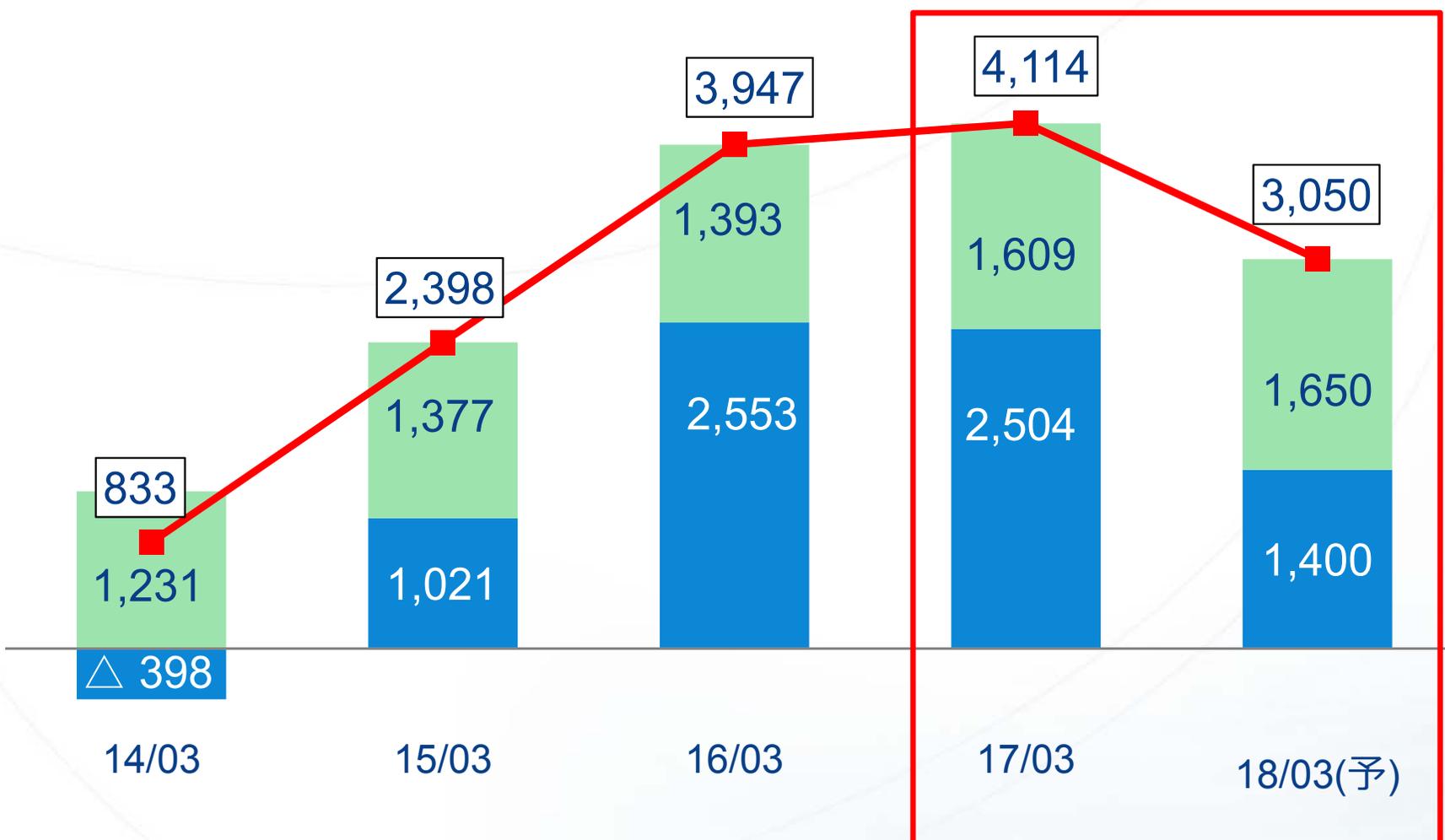
■ 水処理エンジ ■ 機能商品



機能商品事業は売上増による増益を見込むが、  
 水処理エンジ事業の売上減少・研究開発費等の  
 販管費増加により、営業利益の減少を見込む

通期営業利益推移

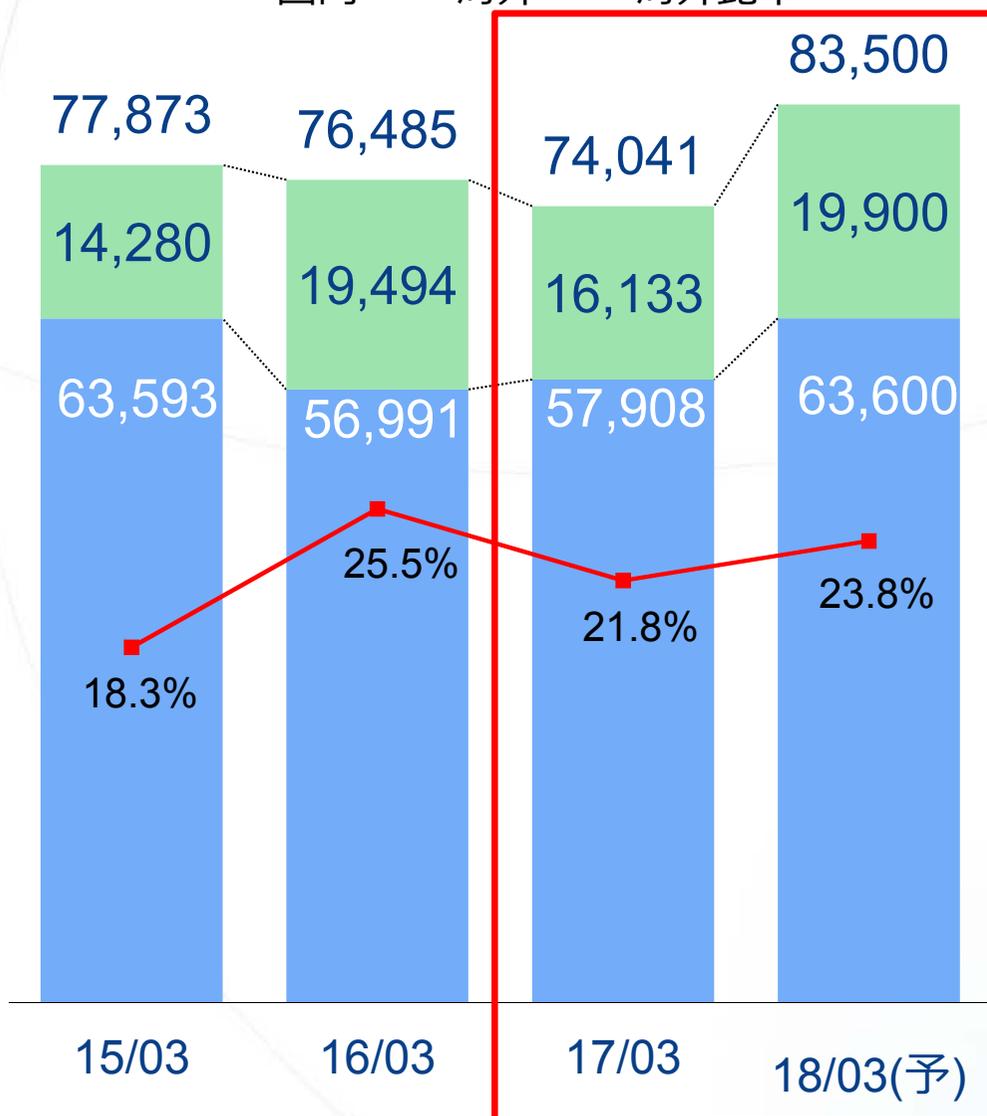
■ 水処理エンジ ■ 機能商品 ■ 全社計



国内外とも電子産業分野での受注増を見込む  
海外では中国が大きく拡大、台湾も回復の兆し

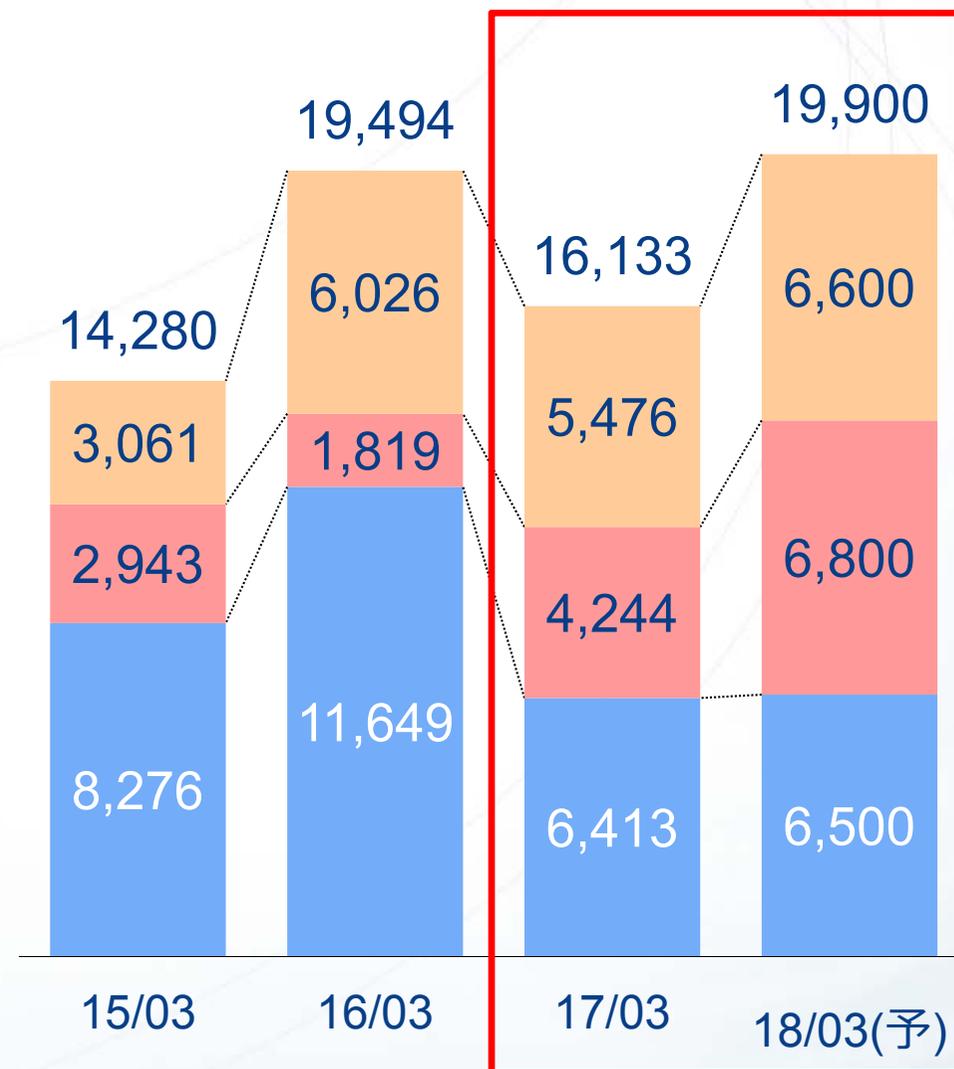
国内・海外別通期受注高

■国内 ■海外 ▲海外比率



海外 地域別通期受注高

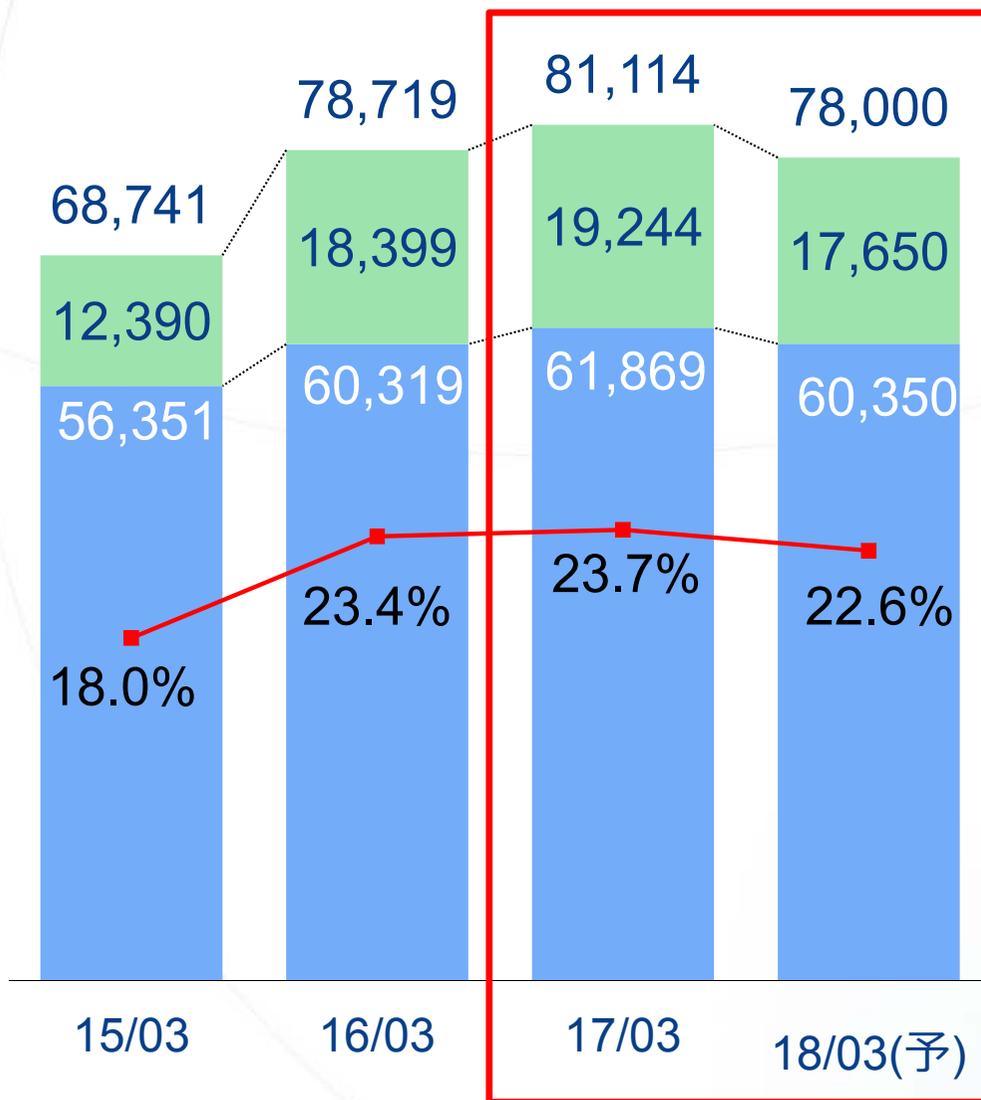
■台湾 ■中国 ■東南アジア他



中国で大幅に伸張も、台湾での投資停滞、  
前期好調だった国内一般産業分野の減少を見込む

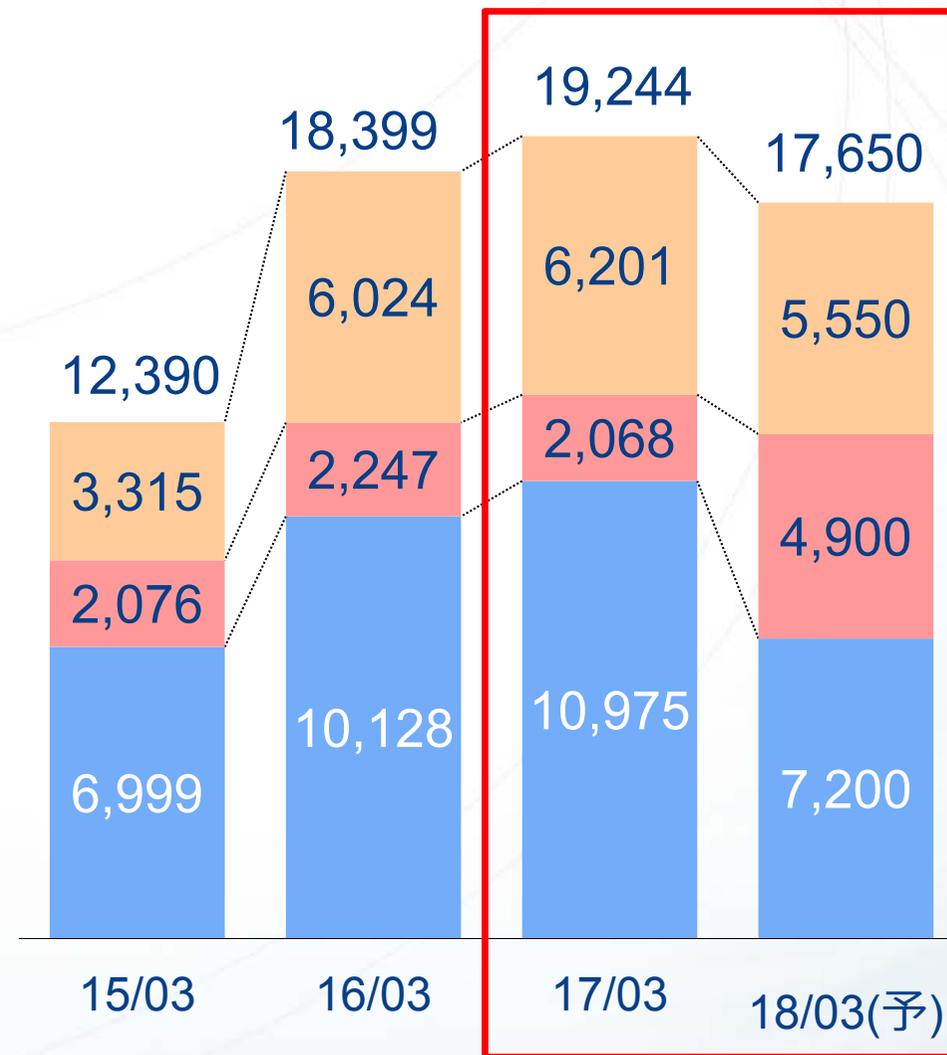
国内・海外別通期売上高

■国内 ■海外 ▲海外比率



海外 地域別通期売上高

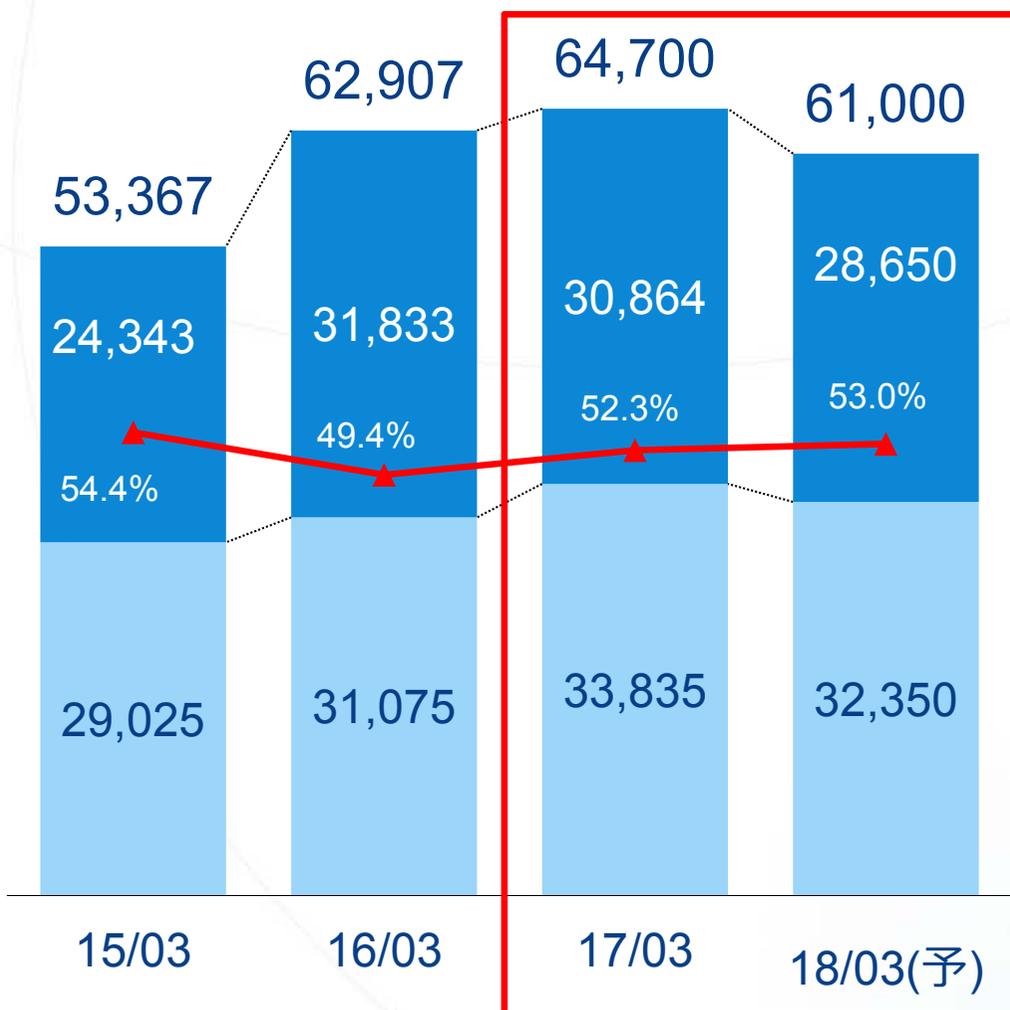
■台湾 ■中国 ■東南アジア他



電子産業分野は前期並の売上を見込むが、  
一般産業分野での売上減少を見込む

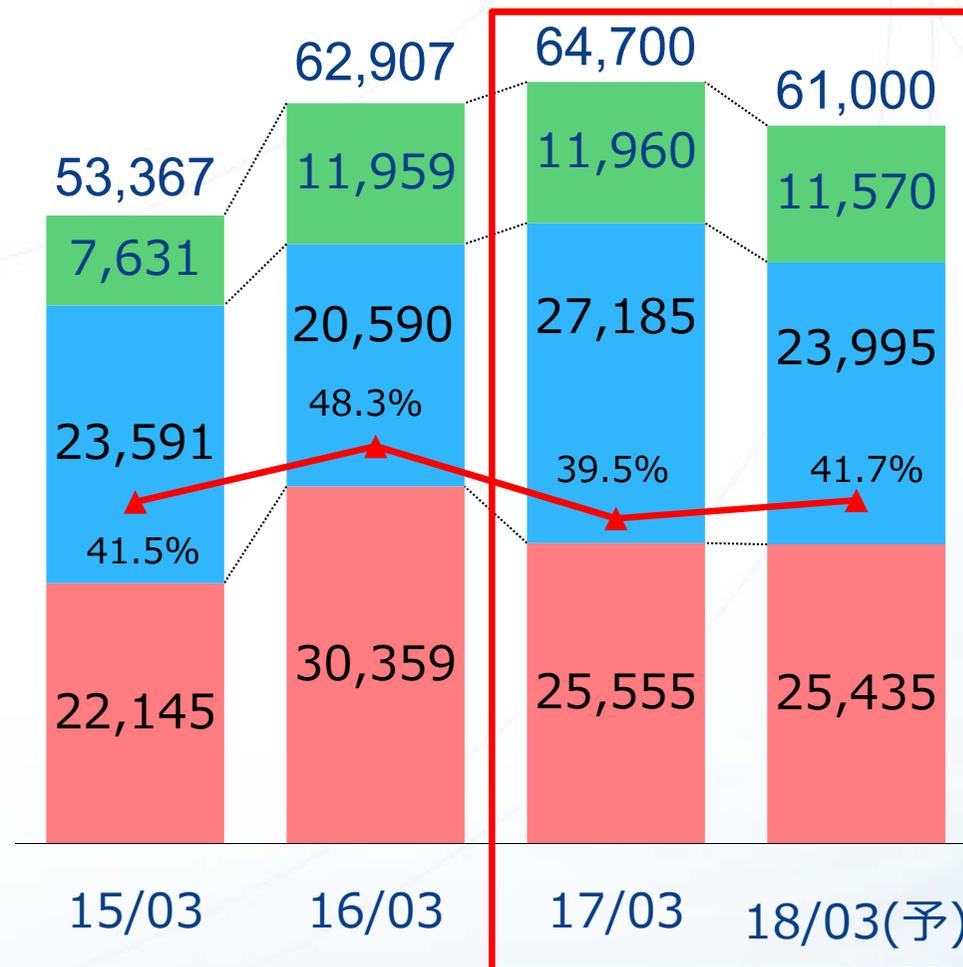
水処理エンジニアリング事業：部門別売上高

■ ソリューション ■ プラント ▲ ソリューション比率



水処理エンジニアリング事業：顧客別売上高

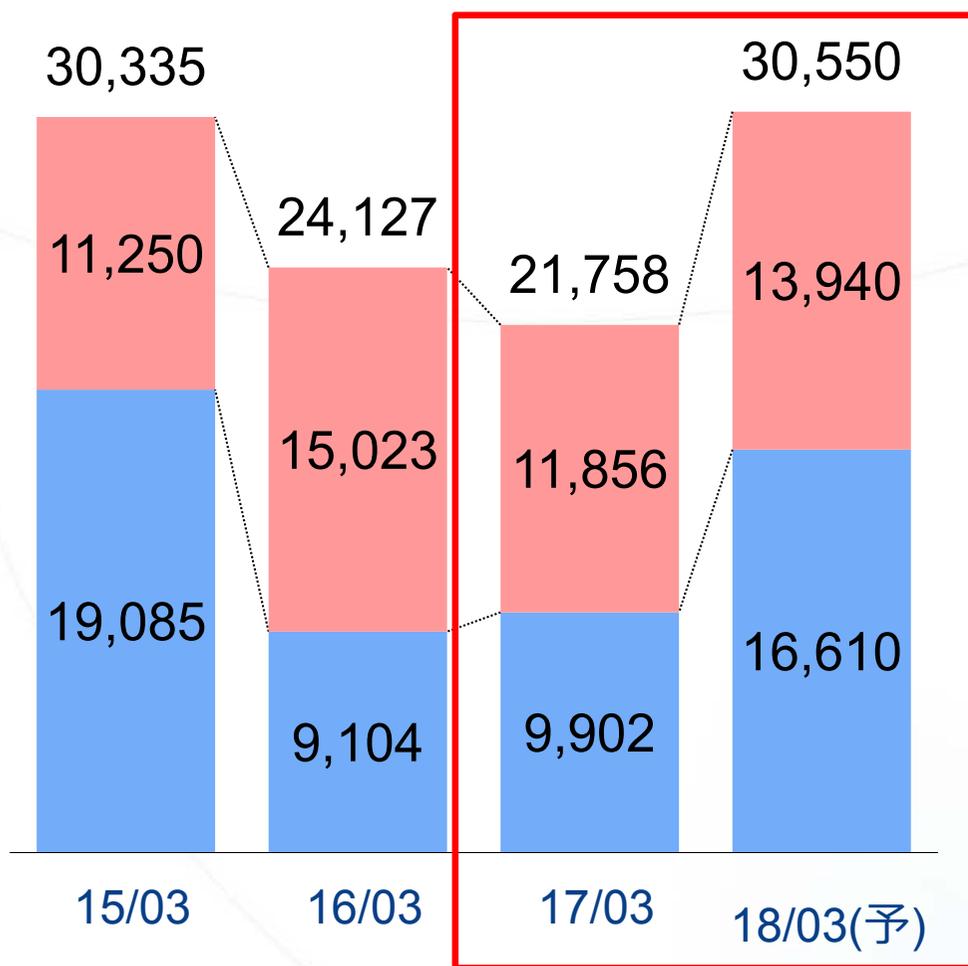
■ 電子産業 ■ 一般産業  
■ 電力・上下水道 ▲ 電子産業比率



電子産業分野の受注は国内外とも大幅な拡大見込む  
 売上は中国・国内が好調も台湾の減少響きほぼ前期並の見込み

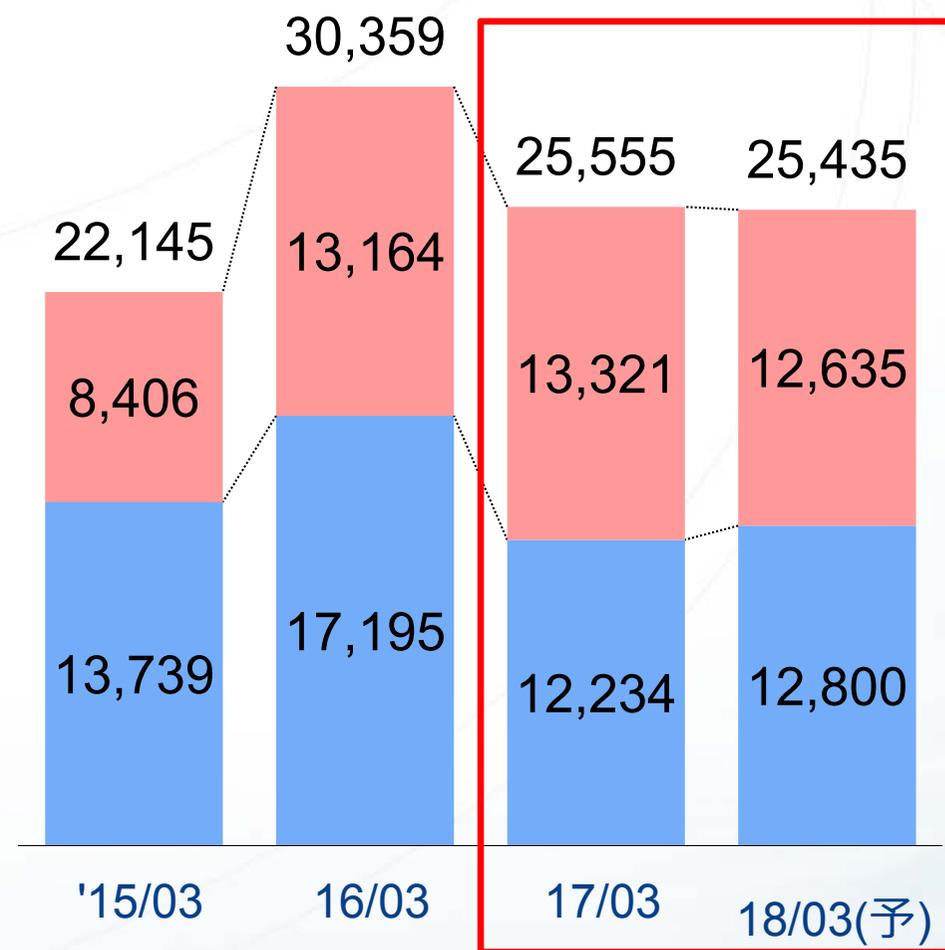
電子産業向け受注高

■ 国内 ■ 海外



電子産業向け売上高

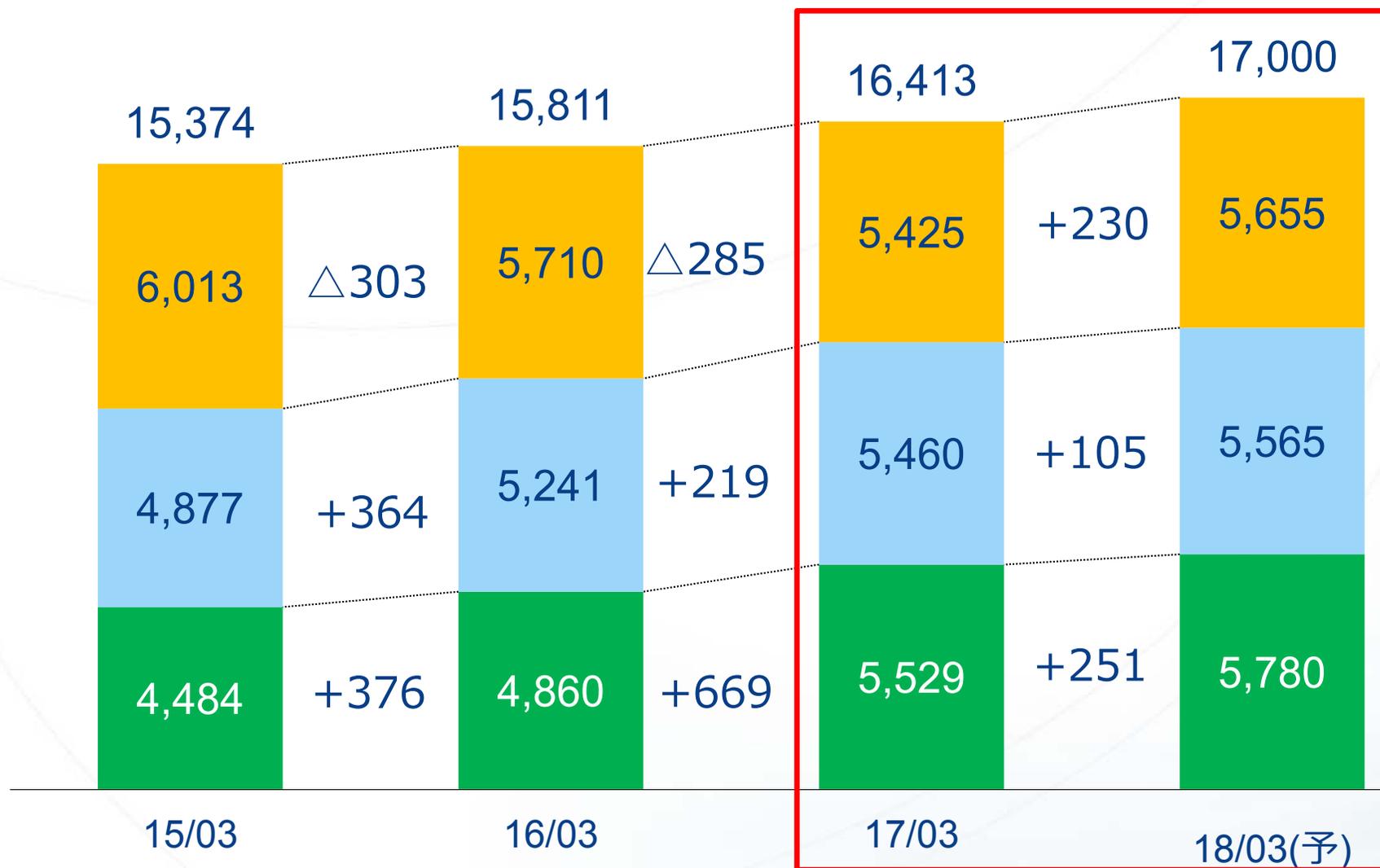
■ 国内 ■ 海外



薬品・機器・食品の全部門で売上拡大見込む

機能商品事業：部門別通期売上高

■ 水処理薬品      ■ 標準型機器・フィルター      ■ 食品



## 主な指標

	2017年3月期	2018年3月期 (計画)	2018年3月期 (予想)
設備投資額 (百万円)	903	1,000	1,000
技術研究費 (百万円)	1,495	1,790	1,790
減価償却費 (百万円)	950	950	950
有利子負債 (百万円)	16,910	15,600	15,600
従業員数 (人)	2,100	2,110	2,150
年間配当金 (円)	11	10※	10※
ROE (%)	5.7	4.0	4.0

※2017年4月1日時点の株式単位で表記

(2017年10月1日に株式併合（5株を1株に併合）を実施したため、期末配当は25円/株となる見込み)

## IV 中期経営計画の取組み

- 経営ビジョンと目標経営指標
- 連結経営指標
- さらなる役割と発展の方向
- 今後の事業展開領域
- 2017年度の重点施策
- 新規事業の創出
- 電子産業分野
- 機能商品分野
- 上下水・排水処理設備の強化

## 経営ビジョンと目標経営指標

### 経営ビジョン

- ◆ 主要アジア経済圏において、産業が求める品質の水を、最も合理的なコストで、最もタイムリーに提供できる、収益力あるエンジニアリング会社を目指す
- ◆ 非水溶媒・ガス体の「分離・精製・回収」に関わる独自性ある技術と事業を創出・展開する

### 目標経営指標

- ◆ 営業利益率・ROE5%以上を安定的に確保し、将来的にはROE8%以上を達成する

## 連結経営指標

	2017/03実績	2018/03予想	2019/03計画	2020/03計画
受注高	74,041	83,500	84,000	88,000
売上高	81,114	78,000	81,000	86,000
営業利益	4,114	3,050	3,400	4,300
同率(%)	5.1	3.9	4.2	5.0
ROE (%)	5.7	4.0	4.4	5.4



## さらなる役割と発展の方向

### 収益力の改善・増進

営業利益・ROE8%以上を  
確保する収益構造確立

- 既存事業のコスト競争力強化
- 高収益性案件・分野発掘
- 差別化技術・製品の改良・進化

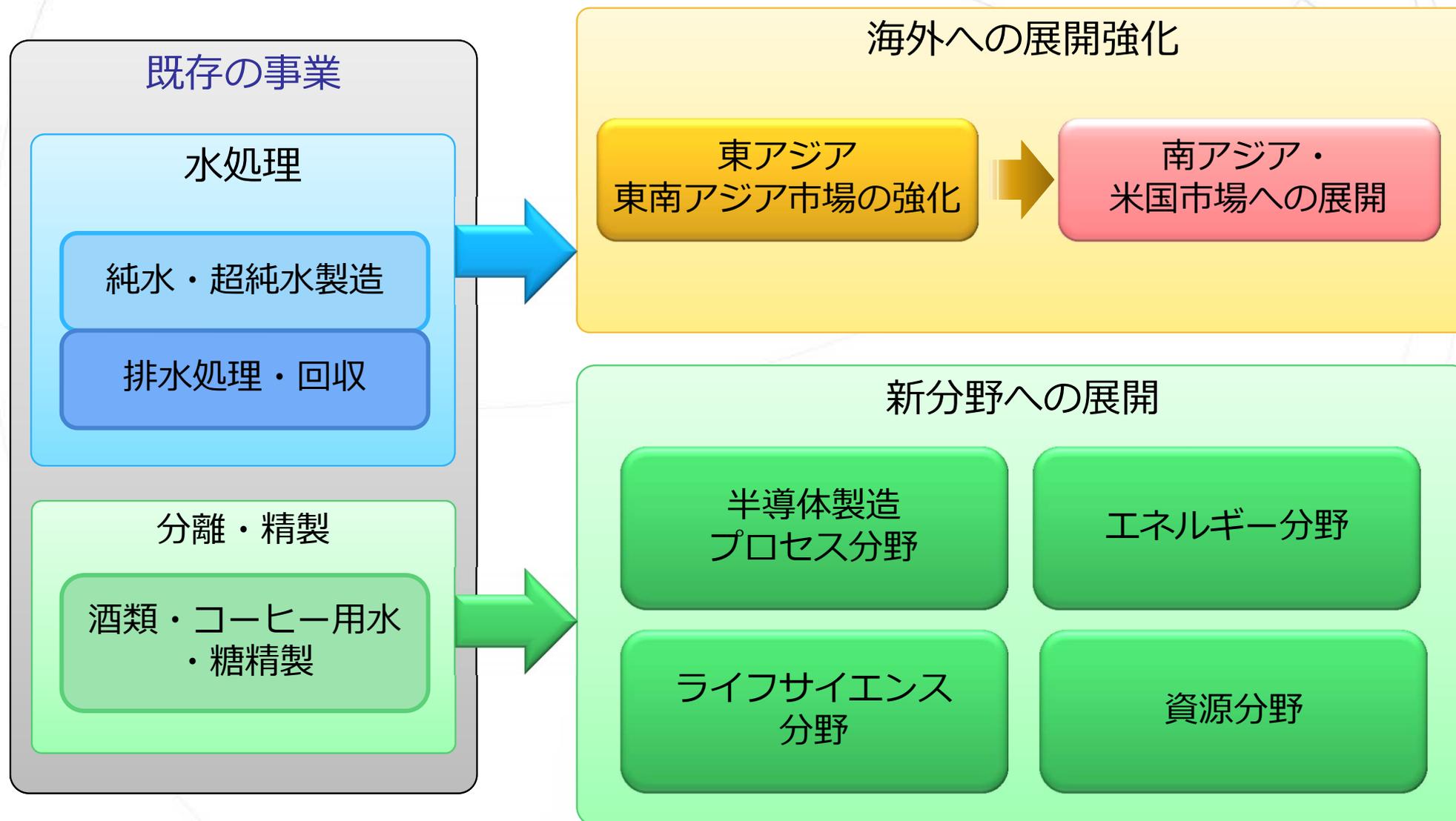
### 新しい事業分野の創出

中長期の持続的成長の  
基盤確立

- 新規事業探索・研究開発へ更なる  
資源投入

目指す姿の実現へ

## 今後の事業展開領域



## 2017年度の重点施策

### 電子分野

- 中国半導体案件の受注と日中台連携による遂行
- コスト競争力の抜本的改善

### 機能商品分野

- 標準型水処理機器の新製品上市
- RO用薬品の市場拡大
- 食品加工材の拡充

### 電力分野

- 国内原発再開に向けた準備と確実な受注
- 海外需要地域への展開のための体制整備

## 研究開発の充実・促進

### 新規事業創出

- Li二次電池用溶剤の精製回収関連事業
- 電子材料の精製事業
- バイオ医薬向け精製事業

### 上下水事業強化

- 省エネ・省スペースの新凝集沈殿装置拡販
- 下水用高効率グラニューール技術の実証

## 1. 新規事業創出

### 分離・精製技術をコアとした新規事業の創出



## 1. 新規事業創出：リチウムイオン電池市場への展開

急成長するリチウムイオン電池の関連市場（2020年までに倍増の2.5兆円規模）に向け、当社の「分離・精製技術」を展開

**⇒2020年以降20億円超の売上高を目指す**

### ◆ NMP(正極製造用溶剤)の精製・回収

リチウムイオン電池の正極製造に使用される溶剤である NMPの回収システムの実証実験を展開  
⇒工場の実液を用いた実験を日本・中国で展開  
早期の実機納入を目指す

【NMP精製設備(実験装置)】



### ◆ 電解液の精製

イオン交換材料を用い、リチウムイオン電池の性能低下の要因となる不純物を除去する装置の実証実験を展開  
⇒早期にシステム化・装置化技術を確立

## 1. 新規事業創出：半導体ウェットプロセス市場への展開

水の供給・回収など従来のユーティリティ市場から  
半導体製造のウェットプロセス（洗浄工程）市場にビジネスを展開

### ◆ 機能水製造装置

微粒子の除去や帯電・表面酸化防止、  
レジスト残渣の除去などに効果を発揮する  
機能水の製造装置を半導体洗浄市場に拡販  
⇒水素水・オゾン水・アンモニア水製造装置

【アンモニア水製造装置】



### ◆ 超純水中の過酸化水素除去・管理技術

超純水中にごく微量(5~40 $\mu$ g/L)存在し、ウェハ表面の  
酸化腐食を引き起こす過酸化水素の除去技術を開発  
⇒独自開発の触媒「オルデトックス」で  
過酸化水素を1 $\mu$ g/L未満まで分解

【オルデトックス】



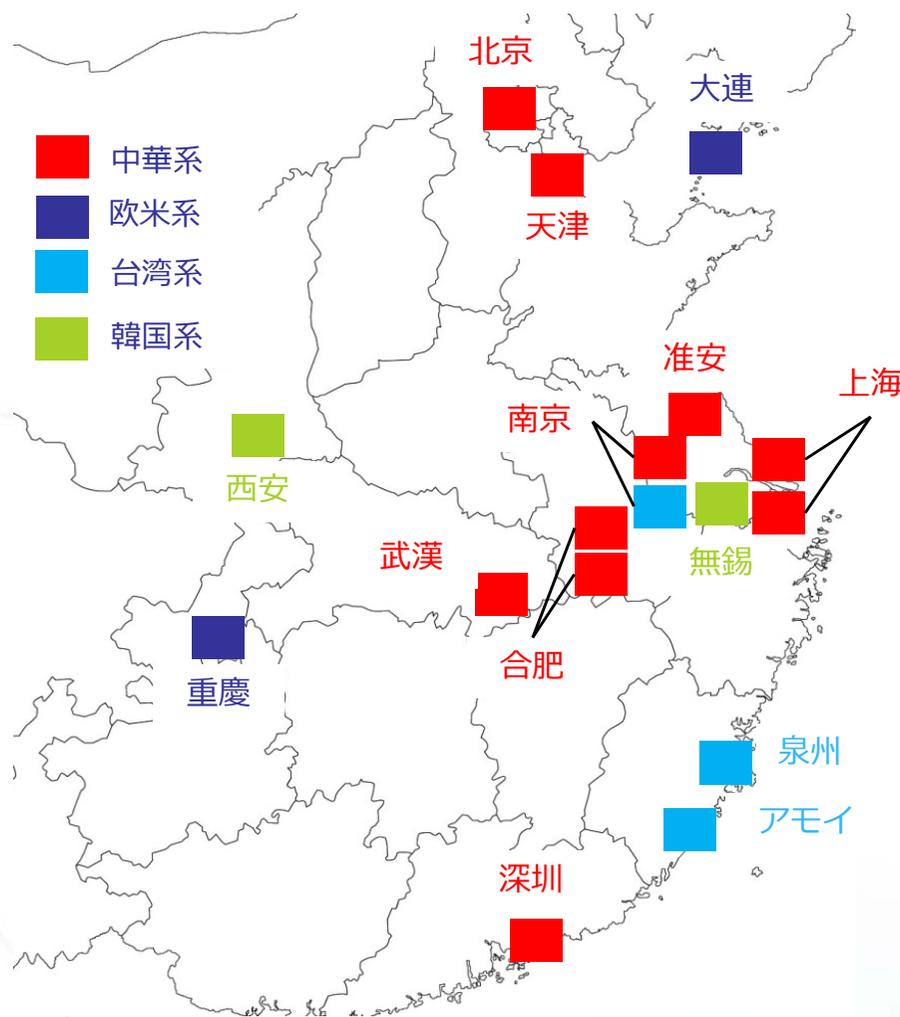
### ◆ 超純水中の微粒子解析

当社が独自開発した膜を用いて世界初の10nm微粒子測定技術を開発  
⇒半導体の微細化に対応、歩留まり・品質の向上に貢献

## 2. 電子産業分野

### ■ 急成長する中国市場への展開

(中国における主な半導体工場投資計画)



国家主導で2020年までに  
5兆円の半導体投資計画



超純水製造設備  
250億円規模  
(推定(ウェハ生産量換算))

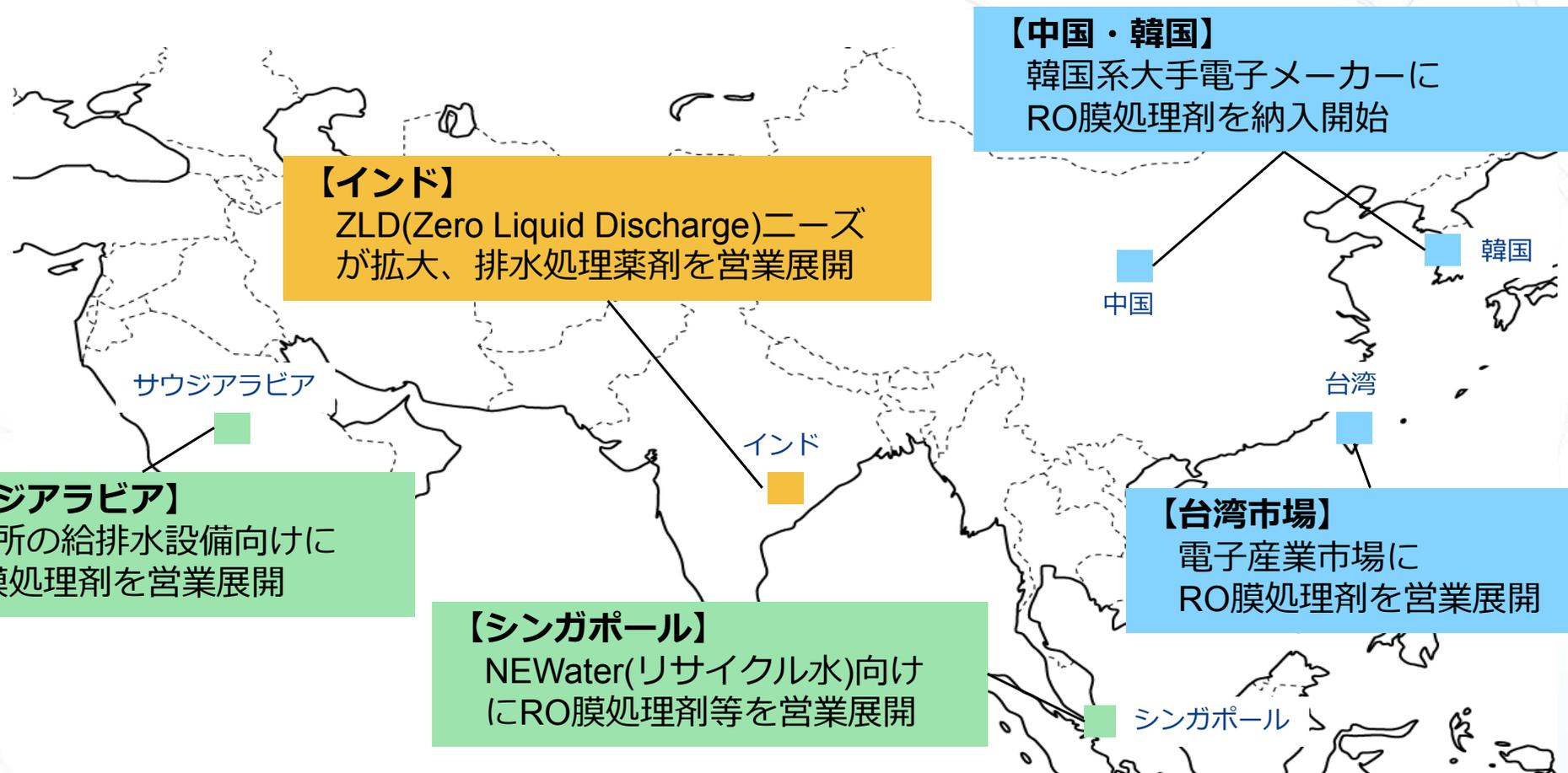
#### 【営業概況】

2017～2018年にかけて  
100億円規模の受注を計画



現時点で約50億円の  
プロジェクトを受注  
さらに営業活動中

## 3. 機能商品分野：水処理薬品の海外拡販



海外市場に向け、RO膜処理剤・排水処理薬剤を武器に  
水処理薬品の営業展開を図る  
⇒2020年までに8億円超の売上高目指す

## 3. 機能商品分野：新製品の開発・上市

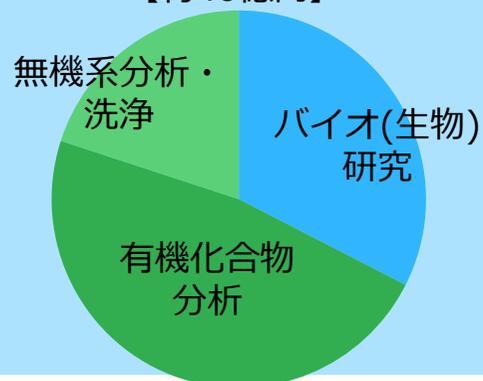
### ピューリック・ピュアライトαシリーズの開発・上市



研究機関・病院などをターゲットとした  
小型純水・超純水装置を開発/上市(2017年6月販売)

#### 小型純水/超純水装置国内市場

【約40億円】



国内市場は欧米系製品がシェア独占状態  
唯一の国産品であり、業界最高レベルの  
高度処理を実現したαシリーズで、  
バイオ医薬・医療診断分野でのシェア拡大  
目指す

## 3. 機能商品分野：食品加工材の充実

- ◆ 高齢者食・介護食
- ◆ 弁当・惣菜など「中食」
- ◆ 機能性食品・栄養補助食品

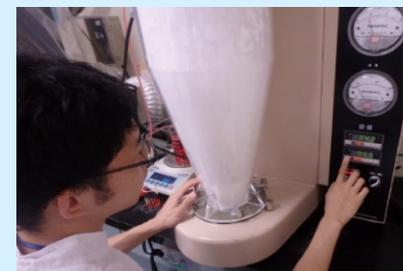


拡大する市場をターゲットに  
粉体の「顆粒化」加工技術の  
研究開発・製造設備を強化

【製造設備】



【食品加工材の開発】



【粉体加工(顆粒化)技術】



(加工前)



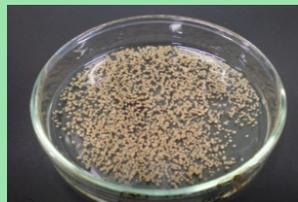
(加工後)

新たな市場向けに2020年までに7億円超の売上目指す

## 4. 上下水・排水処理設備の強化

### 好気グラニューール技術の開発

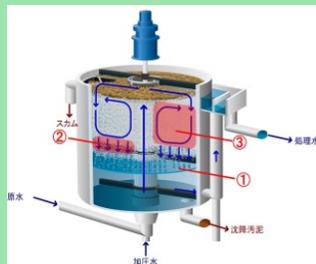
有効な微生物を凝集した  
グラニューール汚泥による  
下水処理技術を開発



⇒処理高速化・設備コンパクト化を  
目指し、**東京都との共同実験**を展開

### 高速加圧浮上装置 H-DAFシリーズ

高速処理(従来比4倍)・  
コストダウン(最大50%)  
を実現。  
国内・海外で50基以上納入



⇒産機工主催の優秀環境装置表彰で  
最高賞である**経産大臣賞を受賞**

### 新型高速凝集沈殿池 「ウェーブセトラー」 拡販

高度な負荷への対応、  
省エネ・省スペースを  
実現した  
ウェーブセトラーを拡販



⇒**大都市浄水施設の更新需要**を  
ターゲットに営業展開

### セラミック平膜の開発・上市

業務提携する明電舎と  
浄水用セラミック平膜を  
共同開発。高負荷への  
対応、導入・維持管理  
コストの低減を実現



⇒**浄水設備向けのラインナップ**を強化

# オルガノ株式会社



## お問合せ先

経営統括本部 経営企画部

TEL : 03-5635-5111 / FAX : 03-3699-7240 / E-mail : info@organo.co.jp

<http://www.organo.co.jp>

本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

2018年3月期 第2四半期決算説明会 補足資料



**オルガノ株式会社**

2017年11月8日

## <目 次>

1.	2018年3月期 上期実績及び通期業績予想		
	① 連結損益	-----	1
	② セグメント別（連結）	-----	2
	③ 電子産業向 受注高・売上高（連結）	-----	2
2.	主な指標	-----	3

### ■■業績の予想について■■

本資料に記載される業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。



# オルガノ株式会社

# 1. 2018年3月期 上期実績及び通期業績予想

## ① 連結損益

(単位：百万円)

	2017年3月期				2018年3月期					
	上期		通期		上期			通期見通し		
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	予想	前期比
受注高	38,332	△ 6.1 %	74,041	△ 3.2 %	36,500	39,588	3.3 %	78,500	83,500	12.8 %
売上高	34,364	2.6 %	81,114	3.0 %	33,500	32,003	△ 6.9 %	81,000	78,000	△ 3.8 %
海外売上高 (海外売上高比率)	8,279	△ 7.0 %	19,244	4.6 %	8,900	7,790	△ 5.9 %	20,300	17,650	△ 8.3 %
	24.1%		23.7%		26.6%	24.3%		25.1%	22.6%	
売上総利益 (売上総利益率)	7,744	16.3 %	18,644	5.0 %	7,400	7,212	△ 6.9 %	17,650	17,850	△ 4.3 %
	22.5%		23.0%		22.1%	22.5%		21.8%	22.9%	
販管費	7,057	3.1 %	14,529	5.3 %	7,100	7,448	5.5 %	14,600	14,800	1.9 %
営業利益 (営業利益率)	687	— %	4,114	4.2 %	300	△ 235	— %	3,050	3,050	△ 25.9 %
	2.0%		5.1%		0.9%	— %		3.8%	3.9%	
経常利益 (経常利益率)	533	— %	4,162	7.5 %	250	△ 182	— %	2,950	2,950	△ 29.1 %
	1.6%		5.1%		0.7%	— %		3.6%	3.8%	
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益 (当期純利益率)	89	— %	2,731	9.9 %	55	△ 253	— %	2,000	2,000	△ 26.8 %
	0.3%		3.4%		0.2%	— %		2.5%	2.6%	

② セグメント別（連結）

（単位：百万円）

	2017年3月期				2018年3月期					
	上期		通期		上期			通期見通し		
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	予想	前期比
受注高	38,332	△ 6.1 %	74,041	△ 3.2 %	36,500	39,588	3.3 %	78,500	83,500	12.8 %
水処理エンジ	30,211	△ 8.1 %	57,611	△ 4.8 %	28,000	31,020	2.7 %	61,500	66,500	15.4 %
機能商品	8,120	2.3 %	16,429	3.0 %	8,500	8,567	5.5 %	17,000	17,000	3.5 %
売上高	34,364	2.6 %	81,114	3.0 %	33,500	32,003	△ 6.9 %	81,000	78,000	△ 3.8 %
水処理エンジ	26,288	2.4 %	64,700	2.9 %	25,000	23,581	△ 10.3 %	64,000	61,000	△ 5.7 %
機能商品	8,076	3.5 %	16,413	3.8 %	8,500	8,422	4.3 %	17,000	17,000	3.6 %
営業利益 （営業利益率）	687	— %	4,114	4.2 %	300	△ 235	— %	3,050	3,050	△ 25.9 %
	2.0%		5.1%		0.9%	— %		3.8%	3.9%	
水処理エンジ （利益率）	△ 133	— %	2,504	△ 1.9 %	△ 500	△ 1,037	— %	1,400	1,400	△ 44.1 %
	— %		3.9%		— %	— %		2.2%	2.3%	
機能商品 （利益率）	820	24.1 %	1,609	15.5 %	800	802	△ 2.2 %	1,650	1,650	2.5 %
	10.2%		9.8%		9.4%	9.5%		9.7%	9.7%	

③ 電子産業向 受注高・売上高（連結）

（単位：百万円）

	2017年3月期				2018年3月期					
	上期		通期		上期			通期見通し		
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	予想	前期比
受注高	11,217	△ 11.6 %	21,758	△ 9.8 %	14,500	11,513	2.6 %	25,040	30,550	40.4 %
国内	5,354	△ 32.5 %	9,902	8.8 %	6,000	7,578	41.5 %	12,100	16,610	67.7 %
海外	5,863	23.3 %	11,856	△ 21.1 %	8,500	3,935	△ 32.9 %	12,940	13,940	17.6 %
売上高	11,875	△ 11.7 %	25,555	△ 15.8 %	11,500	11,483	△ 3.3 %	26,685	25,435	△ 0.5 %
国内	5,996	△ 17.7 %	12,234	△ 28.9 %	5,000	5,796	△ 3.3 %	12,200	12,800	4.6 %
海外	5,879	△ 4.7 %	13,321	1.2 %	6,500	5,687	△ 3.3 %	14,485	12,635	△ 5.1 %

## 2. 主な指標

(単位：百万円)

	2017年3月期				2018年3月期				
	上期		通期		上期		通期見通し		
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	予想	前期比	
<b>連</b>	設備投資額	231	△ 8.5 %	903	49.7 %	425	83.8 %	1,000	10.7 %
	技術研究費	720	△ 0.2 %	1,495	6.2 %	901	25.1 %	1,790	19.7 %
	減価償却費	449	△ 3.4 %	950	△ 0.0 %	454	1.1 %	950	△ 0.1 %
	有利子負債	16,646	20.4 %	16,910	△ 2.9 %	14,831	△ 10.9 %	15,600	△ 7.8 %
<b>結</b>	金融収支戻	△ 22	—	△ 41	—	△ 12	—	△ 50	—
	従業員数 (人)	2,120	+ 59 人	2,100	+ 12 人	2,172	+ 52 人	2,150	+ 50 人
	EPS : 1株当たり当期純利益 (円)	7.77		237.18		△ 22.02		173.71	
	1株当たり配当金 (円/年)	—		11.0		—		10.0	
	ROE : 自己資本当期純利益率 (%)	0.2		5.7		△ 0.5		4.0	
	ROA : 総資産経常利益率 (%)	0.6		4.4		△ 0.2		—	

※1株当たり当期純利益につきましては、いずれの年度も株式併合の影響を考慮して表記しております。

※2018年3月期 (計画) 1株当たり配当金につきましては、2017年4月1日時点の株式単位で表記しております。